



関台に
ちょうどいいPTA
を考えました！

2024年8月
文京区立関口台町小学校PTA

目次

・ 見直し検討の背景	-----	P.01
・ PTAの目的	-----	P.02
・ 入退会手続きの明確化	-----	P.03
・ 運営体制の見直し	-----	P.04
・ 常設委員会の見直し	-----	P.05
・ 会費の見直し	-----	P.06

(参考)

・ 論点整理	-----	参P.01
・ 見直しスケジュール	-----	参P.07
・ 各会議体等の年間スケジュール	-----	参P.08
・ 会費試算	-----	参P.09
・ 卒業記念品とアルバム補助の段階的廃止	-----	参P.10
・ 保護者からの募集意見に対する検討結果	-----	参P.11

本見直しは、今後運営委員会及び総会の議決を経て正式な決定を予定しております

見直し検討の背景

- ✓ PTAを取り巻く環境は、共稼ぎ世帯の増加により、保護者の負担感が増している状況です。また、PTAの存続意義や活動内容の見直しについても意見が出始めています。
- ✓ これらに対応するため、入退会手続きを明確化するとともに、活動内容を現代に即したものに見直します。
- ✓ 強制ではなく、各会員が楽しみながら主体的に参加し支えあえる仕組みを整え、保護者も児童も先生もハッピーになれるPTAを目指します。

PTAの目的

児童の健全育成

教育の充実

学校・家庭・地域による
子育てネットワークづくり

入退会手続きの明確化

- ✓ PTA加入は会費徴収を伴うものであることから、今後は明示的な加入意思確認を実施
- ✓ ただし、未加入者に対する差別的な取り扱いを行わないこととし、児童に不利益が生じないように努める

入会届

PTA会則・細則を理解の上、関口台町小学校PTAに入会します。

※ 兄弟姉妹が在校中でPTA加入中の場合も、改めて本届出の提出をお願いします

・ 保護者氏名 氏名 _____ 氏名 _____

・ 保護者メールアドレス _____
※上記アドレス宛にPTAからの連絡アプリの登録方法をご案内いたします

・ 児童学年・組・氏名 _____ 年 _____ 組 氏名 _____

・ 入学転入年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

・ PTA入会年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

・ 兄弟姉妹が本校に在校中の場合はその学年・組と児童氏名
児童学年・組・氏名 _____ 年 _____ 組 氏名 _____
児童学年・組・氏名 _____ 年 _____ 組 氏名 _____
児童学年・組・氏名 _____ 年 _____ 組 氏名 _____

(学校)会費引落対応	(PTA)登録対応
_____	_____
年 月 日	年 月 日

退会届

以下の退会理由により、関口台町小学校PTAを退会します。

※ 6年生の卒業に伴う退会は本退会届の提出は不要です

・ 保護者氏名 氏名 _____ 氏名 _____

・ 児童学年・組・氏名 _____ 年 _____ 組 氏名 _____

※ PTAは世帯単位での加入となります。ただし、兄弟姉妹の一部が転校となり、そのほかの在校児童が残り、世帯として引き続きPTAに加入いただける場合は、上記は転校児童分のみご記入ください

・ 転校予定年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

・ PTA退会年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

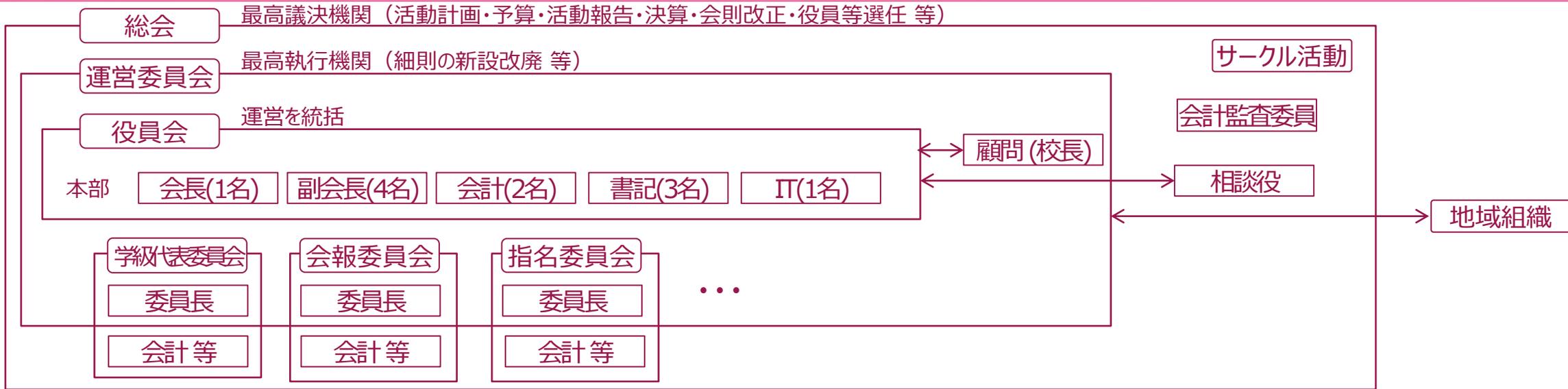
・ 退会理由（任意）
- 転校
- その他（ _____ ）

(学校)会費引落対応	(PTA)登録対応
_____	_____
年 月 日	年 月 日

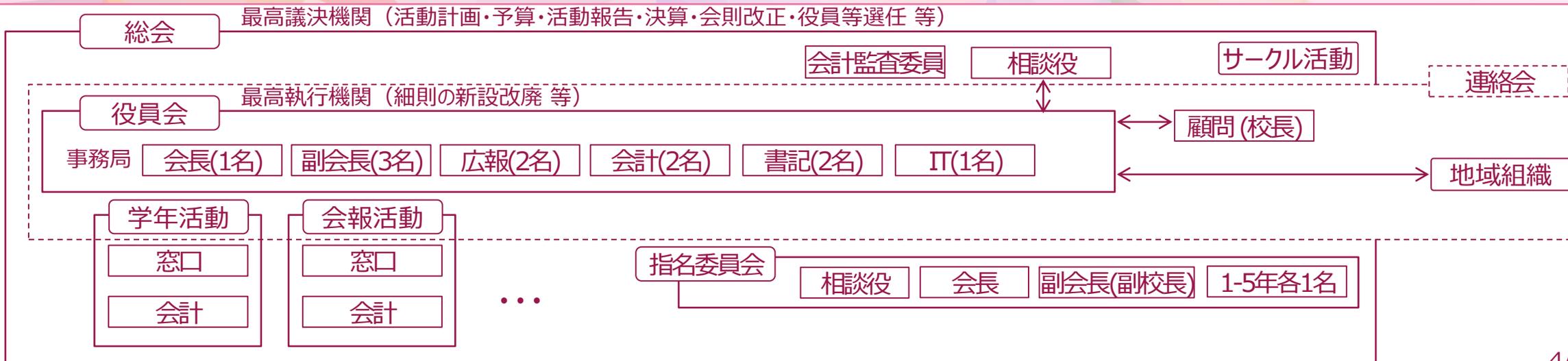
運営体制の見直し

- ✓ 運営委員会を廃止し、機関決定を総会と役員会の2階層に見直し。別途、連絡会を新設
- ✓ 役員会について、広報2名を配置し広報活動を強化。併せて副会長と書記は各2名に見直し

現行

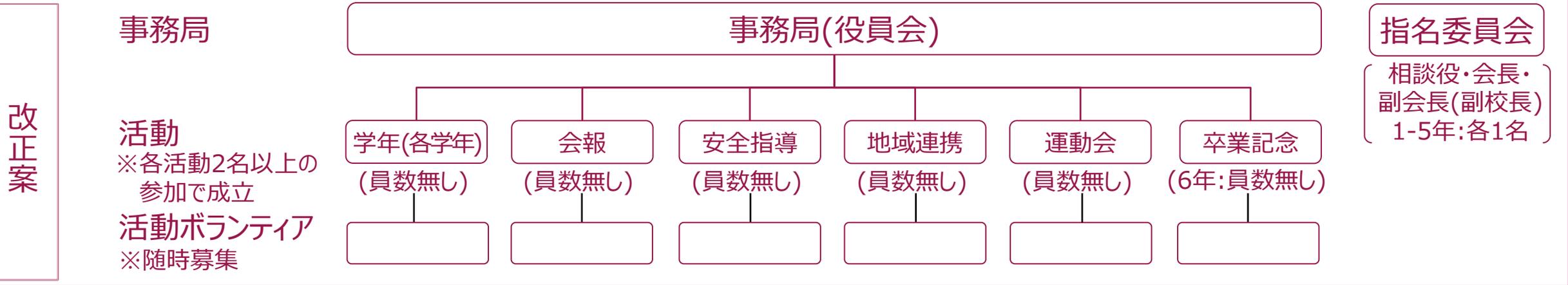


改正案



常設委員会の見直し

- ✓ 呼称を「委員会」から「活動」に変更。各活動は員数を原則撤廃。候補が2名以上集まった場合に活動を実施
- ✓ 「校外指導」は「安全指導」と「地域連携」に分割。「保健厚生」と「ベルマーク」は廃止
- ✓ 「卒業記念」については、継続的に活動支援する観点からPTAの活動に取り込み新設
- ✓ 「指名委員会」は員数設定し、PTA会長、PTA副会長(副校長)、相談役、及び1～5年の保護者各1名とする



会費の見直し

- ✓ 会費使途のスタンス及び支出基準の明確化（PTA会員の児童を中心に広く還元される活動をメインに支出）
- ✓ 主な受益者が児童であることに鑑み教職員からの会費徴収廃止
- ✓ 施策、支出基準、繰越金、積立金の見直しを織り込み20年間の収支を試算し、年額6,000円から3,300円に減額

<会費・使途の見直しの考え方>

- ・ 任意加入の明確化に伴い、広く納得感の得られる会費水準への見直しが必要（現行年間6,000円、都内公立小平均2,400円）
- ・ 使途の基本スタンスは受益者と負担者の対応バランスを考慮
- ・ 主な受益者が児童であることに鑑み、教職員からの会費徴収廃止
- ・ 繰越金、周年行事の積立金の圧縮も含め、20年先までの収支見込みを試算し会費を設定

<使途の基本スタンス>

- ・ PTA会員の児童を中心に広く還元される活動への支援や活動実費は支出基準を明確化の上、維持強化
- ・ 児童・保護者個人又は範囲の限定された児童・保護者に還元される支出は、受益者と負担者の対応バランスの観点から原則行わない
ただし、サークル活動の広報、周知用チラシ経費は、保護者全体に対するものとして支援対象
- ・ PTAの維持運営に必要な費用(さくら連絡網等のITコスト、P連分担費、渉外費、備品等)は内容精査の上で支出

<支出基準>

(支出対象)

- ・ 事務用品の購入経費
- ・ 通信費・交通費
- ・ 広報、周知用チラシ経費
- ・ 学年単位や全校児童向け企画における講師謝礼、教材費
- ・ 専門家への委託費（警備 等）
- ・ PTAの維持運営に必要な費用

(支出対象外)

- ・ 飲食費・手土産代（ただし、学年単位や全校児童向け企画の一環として児童を中心に広く還元されるものは支出対象）
- ・ 児童への対価が明確でない校外関係者などへの慣例的な謝礼
- ・ 教育の一環として学校で支出すべき費用



參考資料

(参考) 論点整理(1.入退会手続きの明確化)

項目	論点	方向性
加入意思確認の必要性	加入の意思確認は必要か。	PTA加入は会費徴収を伴うものであることから明示的な加入意思確認が望ましく、また納得感を持ってPTA活動に参加いただくにあたっては自ら加入意思を明示いただくことも大切な要素と考える。 なお、加入の意思確認については確実に実施するよう、文京区 教育総務課からもPTA会長会(2024/3/5)を通して各校PTAに指導がなされている状況。
教職員の入退会	教職員の入退会手続き。	教職員は会費徴収を行わないこと及び活動義務も無いことから本校教職員として就任とともに自動加入とし、本校教職員から離任するにより自動退会とする。ただし、本校教職員として就任中における退会の手続きを定め、任意での退会を可能とする。
加入率	加入率低下によるPTA存続可否。	東京都PTA協議会による2022年PTA実態調査によると、任意加入の「説明あり」、加入意思の「確認あり」を採用するPTAも90%超の学校が加入率90%の状況であり、直ちに加入率が低下する可能性は高いと想定。 ただし、PTA活動の不断の見直し、PTA加入依頼にあたってはPTAの役割、目的、魅力などのより一層の訴求が不可欠。
未加入者に対する対応スタンス	未加入者に対する基本スタンス。	未加入者に対する差別的な取り扱いは行わないこととし、児童に不利益が生じないように努める。
	未加入者のさくら連絡網登録の可否。	さくら連絡網で配信する情報は基本的にはPTA活動に係るものではあるものの、差別的な取り扱いは行わないという基本スタンスのもと、登録(希望があり中途退会後も登録を残すものも含む)は受け付ける。ただし、総会の案内や委任状回収など、PTA会員に限定した配信が必要な場合も想定されることから、「PTA加入」/「PTA未加入」のグループ設定による管理を行う。
	未加入で会費を納めずとも一定程度の便益を享受できることを良いことに加入しない、所謂フリーライダーへの対応について。	未加入であっても差別的取り扱いをしないと定めることにより、結果的に未加入者も一定程度の便益を享受する状態が生じることは避けられないものと考えます。 加入依頼にあたっては教職員と保護者が組織的に連携できる仕組みがPTAであり、PTAは会費の納入を含め、互助により成り立っていることに理解を求めるとともに、各種活動に参加することに対する保護者としてのメリットも訴求していくことが肝要と考えます。

(参考) 論点整理(1.入退会手続きの明確化)

項目	論点	方向性
未加入者が存在する前提の制度設計	個人に対する記念品や補助の扱い。 (入学記念、卒業記念、アルバム補助、タブレットケース等)	未加入者の存在により受益者と負担者に不一致が生じ、不公平感を生みかねないことから原則廃止する。ただし、必要性が高く、学校全体の利益につながり、単価も低い入校証等については継続。 なお、卒業記念品とアルバム補助については、2025年度以降5年間掛けて段階的に縮小し、廃止する。なお、卒業記念品はPTA全体の勘定とは別の卒業記念委員において6年生から徴収する勘定の中で必要に応じて対応する。
	しいの実文集の扱い。	学校主催の教育の一環での児童文集作成費用。校費で賄えない場合は、PTA会費とは別の教材費の一部として徴収できないか？
加入意思確認の頻度	毎年入会意思確認を行うか、入学時及び転入時のみ意思確認を行うか。	加入意思が毎年変わるケースは多くないと想定されることから、入学時及び転入時のみ意思確認とする。 なお、東京都PTA協議会の実態調査によると「新入生、転入生の世帯のみ確認」を採用するPTAが最多で、採用割合は46.1%。
既存会員への対応	制度見直し時点における既存会員への意思確認。	在校生については制度見直し後に1回のみPTA会員継続の意思確認を明示的に実施する。
中途入退会時の会費	中途入退会時の会費の扱い。	入退会日に関係なく日割り計算は行わない。入会月から退会月までの月数分を納入。
届出媒体	入会届、退会届は紙か、オンラインか。	4月中に提出される新入生(1年生)に係る入会届は以下のフローでさくら連絡網にて対応。 1) 入学式までに新入生のアカウントを新規登録(登録様式発行) 2) 入学式までにさくら連絡網にて「入会届」をアンケート機能を用いて配信 3) 入学式後に保護者がさくら連絡網に登録し、アンケート機能の回答にて入会届提出 学校側での会費引き落とし処理を優先する観点から、それ以降の入会及び退会は紙で受領。
PTAの必要性や加入メリットの訴求	PTAの必要性や加入メリットを再整理し、従来以上に丁寧に訴求し、納得感を持って加入いただくことが必要。	広報担当役員を配置し、これまで以上に丁寧に必要性や加入メリットを訴求する。

(参考) 論点整理(2.運営体制の見直し)

項目	論点	方向性
運営委員会の廃止	廃止理由。	現状の機関決定は総会、運営委員会、役員会の3階層となっているところ、機動的な組織運営とすべく機関決定は総会と役員会の2階層とする。
	廃止影響。	地域組織（関台サポーターズ、青少年委員会、音羽青年健全育成会）とPTAの連携は、別途連絡会を新設することから、実質的な影響は無いと史料する。
連絡会の新設	新設理由。	継続的に校長、役員会、各活動の窓口、地域組織間における情報共有や連絡の機会を設ける観点から新設。
教職員からの選任ポストの位置づけ	教職員から選任を行うポストのルール化。	PTAの運営に学校の意向を適切に反映するとともに、適正な運営を担保する観点から現行運用において副会長及び会計監査委員を各一名、教職員から選任しているところ。会則・細則において当該ポストを明確化するとともに、その選任手続き(教職員会員の中から学校にて候補選定)及び任期(再任回数の上限を設けない)について会則・細則上の明文化を行う。

(参考) 論点整理(3.常設委員会の見直し)

項目	論点	方向性
保健厚生委員廃止	廃止理由。	歯の染めだしは今後は必要に応じて学校の施策として実施。 学校保健会・給食講演会については動画配信に移行している模様。講演会形式で開催がある場合は、都度会員全体に広く案内募集することで参加機会の拡大を図る。 スポーツ大会支援については、必要の都度スポーツサークルを中心にボランティアを募ることとする。
ベルマーク委員廃止	廃止理由。	本校PTAでは2021年度よりウェブベルマークに切り替え。2024年5月22日時点での登録者は211名、うち過去にポイントの収集実績がある方は70名。2021-2023年度の平均収集点は13,677点/年度。活動量に比して得られる対価が見合わないことから廃止する。 なお、東京都PTA協議会の実態調査によるとベルマークを収集していないPTAは東京都においては39.0%。文京区においては35.7%。
	今後のベルマークの取り扱い。	蓄積ポイント約4万円は、100周年に合わせて2025年に商品と交換し学校に寄贈することを検討。 一般社団法人ウェブベルマーク協会のウェブベルマーク及びベルマーク教育助成財団ともに本校PTAとしては活動廃止。ただし、財団への脱退届まで提出するメリットは乏しいことから脱退届は当面提出しない。
卒業記念活動新設	新設理由。	PTAにおける位置づけを明確にすることで、活動経費の補助やさくら連絡網等PTAのリソースの利用等、PTAとして安定的に活動支援をする観点から新設する。
	活動期間。	卒業後のアルバム受け渡しまでを想定。
	会計上の扱い。	PTA全体の勘定とは別に卒業記念委員において6年生から徴収する勘定を設け、卒業記念活動の会計にて管理する。
	卒業記念品の扱い。	PTA全体の勘定とは別の卒業記念活動の勘定にて必要に応じて対応する。
員数設計	各活動の員数の決定。	原則は員数を定めずに募集し、任意に2名以上集まった場合に活動成立。ただし、指名委員会はPTA組織維持の観点から員数を設定する。
	員数の定めのない活動へのメンバー立候補が少人数の場合の扱い。	原則は立候補者を中心に、必要に応じて随時募集のボランティアを募集し対応する。ただし、活動量に比して立候補者数が少なく、活動が困難に陥る可能性がある場合は、立候補者と役員会で相談の上、当該年度について休会とする。
	員数の定めのない活動へのメンバー立候補がない場合の扱い。	PTA会員が必要と考え、その担い手が居ることを活動の前提と考え、立候補がない場合は当該年度は休会とする。休会が連続する活動は活動内容の見直し、存続の必要性を検討する。

(参考) 論点整理(3.常設委員会の見直し)

項目	論点	方向性
指名委員会の構成員	指名委員会の構成員見直し。	学校側の意見も考慮しつつ、役員会で求められる人員特性を踏まえた指名を行う観点から、PTA会長、PTA副会長(副校長)、相談役、及び1～5年の保護者各1名を構成員とする。
活動メンバー募集時期	活動メンバーの募集時期。	基本は4月とするが、主体的に参加できる機会を最大化する観点から、4月以降も随時参加を許容する。
委員会等の呼称	委員会、委員、委員長の今後の呼称。	従前の委員会に属するという概念から活動に参加するという概念に変えていくべく、呼称を見直す。従前の委員会について今後は組織ではなくアクティビティに着目し「活動」と呼称し、その活動単位内で活動する方を「活動メンバー」と呼称する。また、従来の委員長は連絡窓口として「窓口」と呼称し、活動単位内での役割は明確にしつつ活動メンバー内の関係のフラット化を指向する。
活動の新設・改廃	活動の新設・改廃権限の設定。	現状、常設委員会の新設・改廃は会則の改正を伴うことから総会の決定事項。今後は、期中においても必要性に応じて柔軟に新設・改廃が行えるよう、役員会での決定事項とする。
各活動の必要性や参加メリットの訴求	従来以上に丁寧に訴求し、納得感を持って参加いただくことが必要。	広報担当役員を配置し、各活動の必要性、活動内容、活動ボリューム、参加メリット等をこれまで以上に丁寧に説明、訴求する。
随時募集の活動ボランティア	随時募集の活動ボランティアの募集方法。	各活動から担当役員を通して、さくら連絡網を活用した呼びかけ。
	活動ボランティアの募集結果が想定人数に満たない場合の扱い。	活動内容に優先度をつけてできる範囲のことに取り組む。
その他	各活動への担当役員の設置。	役員会との円滑な連携のために継続する。
	会則 第6条2項「会員は(中略)活動に参加する義務と権利を有する」に定める活動参加義務の扱い。	改正目的に鑑み、「義務」は削除する。
	在校期間において2回委員会参加するという暗黙ルール ¹⁾ の扱い。	以下の参考式の通り概ね各家庭2回PTAに役員または委員として参加すればPTA組織が維持できることから生まれた暗黙のルール。立候補による主体的な参加を前提とし、員数も見直すことから暗黙ルールの必要性は大きく低下すること、また暗黙ルールにより活動が強制されることが無いよう、改めて活動にあたっては各会員ができる範囲のことをやりがいを持って主体的に参加するという改定目的を周知徹底する。 参考：((役員12名+活動員数82名)÷家庭数約400)×6年=1.4≒2回

(参考) 論点整理(4.会費の見直し)

項目	論点	方向性
会費水準	記念品や補助などの廃止を前提とした会費設定。	この先少なくとも繰越金や周年行事の積立金の適正化も織り込み、20年間問題なく維持で運用できることを試算の上、年額3,300円に見直し。
教職員の会費	教職員の会費の扱い。	教職員のPTAへの入会及び教職員と保護者の連携がPTA活動において不可欠であることに疑いの余地は無いが、教職員は業務の一環又はその延長線上での活動参加であること、また今般のPTA見直し(保健活動の一環である歯の染めだしの支援見直し等)に伴いPTA活動における児童の受益が相対的に高まることを受け、教職員からの会費徴収を廃止する。
	教職員の慶弔見舞金について。	教職員の会費見直しに伴い、一般慣習も踏まえつつ負担と受益の均衡の観点から次の通り見直す。 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員会員の転退職時の記念品代は廃止 ・教職員会員の配偶者死亡時の弔慰金は廃止(教職員会員本人死亡時の弔慰金は継続) ・その他の役員会で協議の上で実施している結婚、出産、病気に係るお祝い及びお見舞い金も廃止
兄弟姉妹	兄弟姉妹の会費の扱い。	会員は児童ではなく保護者ではあるものの、PTA活動の主な受益者が児童であることに鑑み、在校する児童数に応じて保護者が負担する。
	複数兄弟姉妹が在校する場合にその一部児童のみの加入の可否。	会員は児童ではなく保護者ではあることから、世帯の一部児童のみ加入又は未加入という概念は無く、世帯単位で加入/未加入を選択することとなる。

(参考) 見直しスケジュール

	2024年								2025年			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
学校行事											▲卒業式	▲入学式
PTA スケジュール	▲5/18 第3回役員会 第1回運営委員会	▲6/22 第4回役員会 年度始め総会	▲7/20 第5回役員会		▲9/7 第6回役員会	▲10/19 第8回役員会 第2回運営委員会			▲11/xx 第9回役員会	▲1/xx 第10回役員会	▲2/xx 第11回役員会	▲3/xx 年度末総会(対面)
改定 スケジュール	組織・運用見直し 論点整理	保護者アンケート	会費見直し 論点整理	学校等と協議	PTA見直しの 全体整理	▲9/7 保護者対話会	会則・細則改定の草案作成					

(参考) 各会議体等の年間スケジュール

	x年										X+1年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学校行事	▲ 入学式	▲ 運動会										▲ 卒業式	
総会			▲ 定例総会 ↑									▲ 総会 ↑	
連絡会等	▲ 連絡会 (校長・各活動から1名 ・地域組織・役員) ↑ ▲ 各活動 (新旧合同)		▲ 定例総会 ↑									▲ 総会 ↑	
役員会	▲ 第1回 役員会	▲ 第2回 役員会	▲ 第3回 役員会	▲ 第4回 役員会	▲ 第5回 役員会	▲ 第6回 役員会	▲ 第7回 役員会	▲ 第8回 役員会	▲ 第9回 役員会	▲ 第10回 役員会	▲ 第11回 役員会	▲ 第12回 役員会 (新旧合同)	

(参考) 卒業記念品とアルバム補助の段階的廃止

✓ 在校生についてはこれまで卒業記念品やアルバム補助等の卒業記念費相当をPTA会費の中で負担してきた経緯は、実質的には在校期間にわたりその費用を積み立てていたことに相当することに鑑み、以下の通り段階的に廃止する。

ただし、活動費相当の定額補助は2025年度以降も将来にわたり、卒業記念活動への支給を想定

✓ 2029年度までは実質的な積立期間に応じた金額を、毎年、卒業記念活動に補助する

補助額：(900円×制度見直し時2024年度末時点の在校年数×卒業学年の人数) + 活動費相当の定額補助 55,000円

参 考：各学年の積立相当額 5年生31.5万円、4年生30.2万円、3年生20.3万円、2年生17.6万円、1年生7.5万円 計107.1万円 (定額補助除く)

2024年度 時点の学年	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
5年生 (70人)	1年生 積立あり	2年生 積立あり	3年生 積立あり	4年生 積立あり	5年生 積立あり	<卒業> 5年分補助 (4,500円/人)	-	-	-	-	
4年生 (84人)	-	1年生 積立あり	2年生 積立あり	3年生 積立あり	4年生 積立あり		<卒業> 4年分補助 (3,600円/人)	-	-	-	
3年生 (75人)	-	-	1年生 積立あり	2年生 積立あり	3年生 積立あり			<卒業> 3年分補助 (2,700円/人)	-	-	
2年生 (98人)	-	-	-	1年生 積立あり	2年生 積立あり				<卒業> 2年分補助 (1,800円/人)	-	
1年生 (83人)	-	-	-	-	1年生 積立あり					<卒業> 1年分補助 (900円/人)	
未就学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<卒業> 0年分補助 (0円/人)

※ 2023年度のPTA会計における卒業記念費実績(記念品2,200円+アルバム補助3,200円)を踏まえ、毎年の実質的な積立額は(2,200円+3,200円)/6年間=900円/年・人とする

※ 上記表中の補助額には活動費相当の定額補助 55,000円は含まない。活動費相当の定額補助は2025年度以降も将来にわたり、卒業記念活動への支給を想定

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

- ✓ さくら連絡網のアンケート機能を活用し、2024年6月28日(金)～7月7日(日)の期間でPTA見直しに関する保護者からの意見募集を実施

<案内本文>

PTA会員の皆さま

平素よりPTA活動にご協力いただきありがとうございます。

現在、PTAにおいて、PTAを取り巻く環境変化を踏まえつつ、会員の皆さまのご意見を伺いながら各種見直しを検討したいと考えております。

方向性としては、PTA活動がボランティアによる互助であることに立ち返り、また保護者のPTA活動に充てられる時間も有限であることにも留意しつつ、今の時代に求められる活動内容への見直しを行うとともに、活動にあたっては義務や強制ではなく、各保護者ができる範囲のことをやりがいを持って主体的に参加いただけるような仕組みに見直していきたいと考えております。

具体的な検討項目としては、入退会手続きの明確化、委員会の見直し、運営の効率化、会費の見直し等を検討しております。

つきましては、見直し検討にあたり、皆さんのPTAに関する忌憚ないご意見を頂戴したく、アンケートにご協力いただければ幸いです。

なお、本意見募集は匿名での回答・集計となりますので、安心してご回答ください。

<アンケート内容> ※各項目は自由記述、任意回答

1. PTAの委員会活動についてのご意見があればお聞かせください
2. PTA会費(現行6,000円/年)及びその用途についてご意見があればお聞かせください
3. その他PTAの在り方や運営等について何なりとご意見お聞かせください

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問1 : PTAの委員会活動についてのご意見があればお聞かせください

No.	ご意見	検討結果
1	6年間で1度はPTA委員会をやらないといけないと聞きました。 実際の活動内容はどの程度の量なのか分からないので、ご意見も難しいですが、共働きの方にはそもそも情報も少ない事でハードルも高いのではないのでしょうか。 PTAの部活動をやっている方なんかは、お知り合いにその辺りも聞いて臨むことも出来るのかな、と。 委員会への希望者に困っていない状況なら、これまで通りで良い様な気もします。希望者がいなくていつも人員確保に努めなければならないなら、抜本的な変更が必要なかもしれません。	これまでPTA活動の内容が十分に伝わっていない点は大変申し訳ありませんでした。今後は、活動内容とその必要性、保護者として参加することのメリットを訴求していくようにいたします。 なお、これまで暗黙のルールで6年間のうちに2回は委員会が役員に参加しないといけないような雰囲気がありました。が、今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃する方向で検討しております。 是非、PTA活動にご理解いただき、ご参加いただければ幸いです。
2	PTAの委員会活動を可能な限り減らしてほしいです。 運動会のお手伝いを1ヶ月前に募集するくらいでいいのではないかと思います。 PTAの会報誌も保護者に負担をかけてまで発行する必要はないと思います（皆さん毎年嫌がっていますので）。その分、卒業アルバム作成や卒業式関係のために必ず必要になる卒業対策委員の人数を増やすのがいいと思います。 みんなで分担すれば、もう少し卒対の負担が減ると思いますので。みんな卒対にだけはなりたくないと言っています。	ご意見ありがとうございます。今回、活動量とその効果を踏まえ、保健厚生委員とベルマーク委員は廃止の方向で考えております。 一方、卒業記念は継続的な活動支援の観点から正式にPTA活動に組み入れる方向で検討しております。 卒業記念、会報活動を含む各活動について、必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制(卒業記念は6年生からの募集)とし、人数の枠も撤廃する方向で検討しております。
3	PTAの必要性がわかりません。	これまでPTAの必要性について説明が十分でなかった点は大変申し訳ありません。 PTAは、学校・保護者・地域社会の連携により、児童の健全育成、教育の充実、学校・家庭・地域による子育てネットワークとして、関係者の互助により成り立っているものです。 PTAの趣旨に立ち返り、改めて活動内容や運営について見直しを行うと共にその必要性についてこれまで以上に訴求していく方向で検討しております。引き続き、ご理解、ご協力の程よろしくお願ひいたします。
4	PTAは任意加入で義務や強制ではないはずが、委員をくじ引きなどで強制的に決める、また高学年になってからは、委員決めなどで手が上がらなければやったことのない人に押し付けようとする運営がおかしい。何の権限で勝手に決めているのか。保護者会などで保護者を集め、実質的に強制的に決めても断れない雰囲気になっているのも気持ち悪い。欠席者にも勝手にくじ引きされるような運営もおかしい。早くこの代々続いている異常な運営をこれを見直してほしい	ご指摘の通りかと思ひます。 今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。
5	○入学式におけるPTAの説明の必要性があまり感じられませんでした。 学校の説明もほとんど紙面参照でその場での説明は省略しているのに、PTAだけ長々と会計の説明までしていたのに少し違和感を感じました。会長のみ出席で挨拶のみ。残りは紙面をご参照くださいで良いのではないかなと感じました。 ○係活動を拝見しましたところ、ベルマーク係や指名委員など学校や生徒のための活動というよりは、慣例、伝統を重視した係、活動ばかりなように感じます。学校のPTAに指名委員会は必要と思いませんし、他の係にしても、ゆずりは、や父の会、等は子供達のためと感ひますが、全体的に学校や生徒のための活動がほとんどないのではないかと感ひます。 ぜひこの機会に今一度PTAのあり方、何のための活動なのか、活動全般の見直しをしていただき、今の時代に必要であるかご検討の上、少しでも先生の負担が軽減されるようなお手伝いや、生徒の日々が、安全に楽しく過ごせるための活動に時間、お金をかけていただきたいと切に願ひます。	PTAについて今後は任意加入であることを明確化するとともに、PTAの必要性や価値をこれまで以上に分かりやすく訴求し、ご理解いただいたうえでPTAに加入いただき、活動に参加いただきたいと考えております。いただいたご意見とは逆の方向とはなりますが、入学時の説明についても内容を精査の上、大切なポイントを新入生の保護者の方々に丁寧に説明を行っていきたくと考えております。ご理解いただければ幸いです。 活動については、ベルマーク活動については、活動量とその効果の観点から廃止の方向で検討しております。 それ以外の活動についても、ご指摘いただいた観点を踏まえ、活動の継続要否、活動単位の粒度(「校外指導」を「安全指導」と「地域連携」に分割)に見直しを含め、PTAの運営全体の見直しを検討しております。 なお、指名委員会については、PTA活動維持の観点から継続はするものの、構成員は学校の意見やPTAの活動実態に合わせた役員の人選ができるよう、現行の1-5年の保護者各2名から、副校長・会長・相談役・1-5年の保護者各1名に見直しを検討しております。 ご理解いただければ幸いです。

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問1 : PTAの委員会活動についてのご意見があればお聞かせください

No.	ご意見	検討結果
6	ありがとうございます。	ありがとうございます、引き続きご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。
7	いつもありがとうございます	ありがとうございます、引き続きご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。
8	いつもありがとうございます。 委員についてですが、仕事がある保護者も多く、子どもたちにとって必要ではないものも多いと思います。(どの委員も必ず必要ではないように思います、) ぜひこの機会に見直し、時代に沿う形になればと思います。	今回、活動量とその効果を踏まえ、保健厚生委員とベルマーク委員は廃止の方向で考えております。それ以外の活動は必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃する方向で検討しております。
9	いつもありがとうございます。 保護者がボランティアにて小学校生活のサポートはやはり必要かと思います。 入会の自由、運営の効率化とても良いと思います。	ありがとうございます、引き続きご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。
10	いつもありがとうございます。父母ともできる限り関わって、地域からも学校運営を支えたいと考えています。 活動は、実際もっと人数が少なくても運営できるケースもあり、時に無理やり分業してかえって非効率になる場合もあるため、本当に必要な人数に毎年適正化していくとよいのかなと感じます(もちろん、仕事ではないので、効率だけが目的ではないのもよくわかります)。	PTA活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。 活動は必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃する方向で検討しております。結果として今より人数が増える活動や逆に減る活動がでけると想定されます。手を挙げてくださった方々でできること・やりたいことを無理のない範囲で取り組むスタイルに変えていきたいと考えております。ご理解いただければ幸いです。
11	いつもありがとうございます。私も常設委員会は経験させて頂いております。こどもの為と思い仕事をもちながら母子家庭ですが、協力させて頂いております。委員会にもよると思いますがさほど常設委員会は集まる頻度も少ないのでなんとかこなせています。しかし、委員を引受けていらっしゃる皆様は、同じような顔ぶれがどの委員会でも多いなあと感じております。(やらない人はやっぱりやらない)	PTA活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。 活動は必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、人数の枠も撤廃する方向で検討しております。半ば強制的な募集を止めることから、活動に参加できる方の偏りは変わらないかむしろ偏りが増大する可能性も想定されます。 今後はなるべく丁寧に活動の紹介や、価値訴求を行い、一人でも多くの方の賛同を得て共に活動できればと考えております。
12	いつもお世話になっております。 拙宅は既に委員、本部役員ともにやらせていただきましたが、当時より、明確な入会手続きは必要とは思っておりました。またその際に、PTAの意義や役員を務めるメリットなども周知出来ると良いと思います。先生方の助けになり、家庭にもメリットがあるPTAのやりがいをアピールいただくのはいかがでしょうか。	PTA活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。 今後は、活動内容とその必要性、保護者として参加することのメリットを訴求していくようにいたします。
13	他校の広報委員においては、広報誌をデジタル化し、効率を図ろうと学校側、PTA本部と調整していますが、皆さま前向きなご意見を頂いております。 共働き世帯の増加、父親の参加も増えており、効率化することへの抵抗感はない印象です。 主役は子どもたちであることに変わりはありませんので、組織を最小化し、集まりを極力オンライン化、リアルイベントの際にはボランティアを募る、など、形態を変えていくべきかと、強く感じました。 広報委員の人气がなく、印象として、皆さま広報委員への抵抗があるようです。なので、なるべく効率化できればと思っています。	PTA活動にご理解ご協力いただきありがとうございます。 各活動について、必ずしも前例を踏襲する必要はないと考えております。会報活動についてもデジタル化も一つの方角かと思います。集まっていた活動メンバーの中で、できること、やりたいこと、やり方を含め、毎年決めていただければと考えております。
14	お世話になっております。委員等を引き受けてくださっている方には、感謝致します。	ありがとうございます、引き続きご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。
15	お忙しい中お疲れ様です。委員会活動に参加するこになった時、話し合いなどは土日希望します	一律に話し合いの開催日を土日とあらかじめ決めてしまうと活動が難しい保護者もでてくるかと思います。各活動メンバー同士でお互いのご都合を確認の上で日程等を決めていただければと思います。

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問1 : PTAの委員会活動についてのご意見があればお聞かせください

No.	ご意見	検討結果
16	つばき学級について、文京区支援級の全校全員加入が原則の連絡協議会というものがあまして、PTAの役割扱いになっている学校もあるので、ぜひ、関台もそのようにして頂きたいです。	これまでは暗黙のルールで6年間のうちに2回は委員会が役員に参加しないといけなような雰囲気がありましたが、今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいとご感想の方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃する方向で検討しております。 是非、PTA活動にご理解いただき、無理のない範囲でご参加いただければ幸いです。
17	やりがいを持って主体的に参加して欲しいと言われると、在学中に最低1-2回引き受けるという暗黙の了解よりもハードルが高い気がします。なんとなくやっておこうかなというフツとした気持ちで参加したら無責任に引き受けた形になってしまいそうで手を挙げにくくなり、結果的に委員会活動が縮小する事が懸念されます。	ご意見ありがとうございます。趣旨としては半ば強制的な参加から手挙げ制でやれる人・やりたい人が楽しく参加できるように変えていきたいというものです。参加のハードルを上げたいという意図はありませんので、そのように感じられることの無いようアナウンスの表現を工夫していきたいと思っております。
18	やりたい人がやればいい ほぼ強制なので、つらい	これまでは暗黙のルールで6年間のうちに2回は委員会が役員に参加しないといけなような雰囲気がありましたが、今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいとご感想の方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃する方向で検討しております。 PTA活動は皆さまの互助で成り立っております。是非、PTA活動にご理解いただき、無理のない範囲でご参加いただければ幸いです。
19	ベルマークはネットになりましたが、活動予算費10000円も必要なのでしょうか？	今回、活動量とその効果を踏まえ、保健厚生委員とベルマーク委員は廃止の方向で考えております。 なお、PTAの予算については用途の基本スタンスと支出基準を設け、見直しを考えております。
20	ボランティアにも関わらず、いつも子供達の為に活動してくださりありがとうございます。	ありがとうございます、引き続きご理解ご協力の程よろしくお願いたします。
21	今回初めて自分自身がPTA委員活動に加わり、とても効率的に運営されていることをはじめて知りました。不要な役割はすでにかなり見直されており、おそらく必要な役割に絞って継続されている印象です。 尚、自分自身は同じ委員メンバーの配慮もあり、仕事との両立も出来てます。	PTA活動へのご参加ありがとうございます、今回も時代や会員の皆さまの考えにマッチしたPTAになるよう、更なる見直しを行いたいと考えております。 引き続きご理解ご協力の程よろしくお願いたします。
22	以前と比べてだいぶスリム化されて、委員の数も減っており、共働き世帯も多い中活動しやすくなったのではないかと思います。	ありがとうございます、今回も時代や会員の皆さまの考えにマッチしたPTAになるよう、更なる見直しを行いたいと考えております。 引き続きご理解ご協力の程よろしくお願いたします。
23	任意加入の団体のはずが実質的に強制加入の団体になっている。PTA活動は専業主婦等以外は会社などを何日も休んで対応せざるを得ないので非常に負担が大きく、あくまで任意加入であることをしっかり明示してほしい。現状、都合が悪いのかその点が全く示されていない。また、会社を休まざるを得ない状況にさせて例えば（今はやっているのか知らないが）ベルマーク委員などのような無意味とも言える極めてコストパフォーマンスの悪い活動を継続しているのは狂っているとしか言いようがない。その活動で得られるものなど自分でお金を払って解決してしまうことで参加しなくていいならそうしたい人がほとんどなのでは。また、委員等になったことがない人がないようにする運営、やりたい人がいなければ引ききなどで勝手に委員を決める運営も異常。そこまでせざるを得ないのであれば退会したい人はいつでも退会できる運営にして欲しい	ご意見ありがとうございます。ご指摘の通り化と思っております。 PTAについて今後は任意加入であることを前提に入退会手続きを明確化するとともに、PTAの必要性や価値をこれまで以上に分かりやすく訴求し、ご理解いただいたうえでPTAに加入いただき、活動に参加いただきたいと思います。 また、今回、活動量とその効果を踏まえ、保健厚生委員とベルマーク委員は廃止の方向で考えております。 なお、これまでは暗黙のルールで6年間のうちに2回は委員会が役員に参加しないといけなような雰囲気がありましたが、今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいとご感想の方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。 是非、PTA活動にご理解いただき、ご参加いただければ幸いです。
24	係決めの際に決まらなかった場合の抽選は辞めていただきたい。意欲のある方や出来る方がやるべきで強制が圧力を感じて非常に負荷がかかります。	これまでは暗黙のルールで6年間のうちに2回は委員会が役員に参加しないといけなような雰囲気がありましたが、今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいとご感想の方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。 PTA活動は皆さまの互助で成り立っております。是非、PTA活動にご理解いただき、無理のない範囲でご参加いただければ幸いです。

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問1：PTAの委員会活動についてのご意見があればお聞かせください

No.	ご意見	検討結果
25	保護者の協力なしに開催できない行事などは縮小あるいは中止してはいかがでしょうか。 例えば歯の染め出しは歯科医院に通院している家庭が多いし、どれだけ意義があるか疑問です。 運動会などの行事のときはボランティア募集ではどうか、あるいは外注を検討してもよいかもしれません。 印刷物が多いので電子化していただきたいです。文集やせきだいは電子化できると思います。	ご意見ありがとうございます。 今回、活動量とその効果を踏まえ、保健厚生委員とヘルマーク委員は廃止の方向で考えております。 運動会について、ボランティアを募集しご協力をいただいております。警備は外部委託を行っております。 印刷物については、皆さんのご意見も伺いながら内容に応じて電子化にも前向きに取り組んでいきたいと思っております。
26	兄弟のアンケートへ記載しました。	ありがとうございます。
27	出来るだけ簡素化して頂きたいです。	PTAの趣旨（関係者の互助による、児童の健全育成、教育の充実、学校・家庭・地域による子育てネットワーク）を損なわないように配慮しつつ、時代や会員の皆さんの考えにマッチしたPTAになるよう、更なる見直しを行いたいと考えております。
28	各委員会活動において、見学や体験というようなワンクッション置いた委員会活動の参加スタイルはありますか？	各活動について、4月開始を基本としつつも期中において出入り自由なスタイルに見直しをしたいと考えております。
29	夫婦共にフルタイムで働いており、正直なところ、委員会活動に貢献する時間的、体力的余裕がありません。 加入は任意とはいえ全員加入の雰囲気であり、委員の選出人数を考えると、卒業までに一度は何らかの委員会に参加しなければいけない、と言う印象を受けます。 立候補がない場合は抽選で選出されるルールがあるため、負担の少なそうな委員を選び「選出されても良い」と回答していますが、出来れば他の方にお任せしたい、と考えています。	お仕事お疲れさまです。 これまでは暗黙のルールで6年間のうちに2回は委員会が役員に参加しないといけなような雰囲気がありましたが、今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいとご協力くださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。 なお、PTAの趣旨（関係者の互助による、児童の健全育成、教育の充実、学校・家庭・地域による子育てネットワーク）に賛同いただけましたら、無理のない範囲でご参加いただければ幸いです。
30	委員会活動について、その年の委員が活発に意見を出して活動していくスタンスは個人の価値観が多様であり、各々気を遣う場面が多く大変負担に感じた。 1年を通して、徐々にメールが少なくなる保護者や、連絡が取れなくなる保護者がいるので委員長等まとめ役をやってくれている保護者の心理的負担が大きいと考える。	ご意見ありがとうございます。各委員が児童のことを考え活発に意見を出し合って活動していくことは、気疲れをする場面もあるかもしれませんが、児童にとってよりよい活動に繋がってくるものと思っております。 なお、委員長個人に負担が偏らないよう、委員長も廃止し、フラットな関係性の中でそれぞれができる範囲で活動するスタイルに変えていきたいと考えております。
31	年間を通して、いつ集まりがあるのかわかっているのであれば早めにお知らせいただきたいなと思っています。	PTA活動について、全体で集まる日は4月に新旧メンバーで引継ぎを兼ねて集まる1回を基本に考えております。各活動におけるスケジュールについては、前年度までの活動を参考に、当年度の新メンバーで予定を確認しながら決めていただくことを想定しております。
32	必要最低限でよい	PTAの趣旨（関係者の互助による、児童の健全育成、教育の充実、学校・家庭・地域による子育てネットワーク）を損なわないように配慮しつつ、時代や会員の皆さんの考えにマッチしたPTAになるよう、更なる見直しを行いたいと考えております。
33	必要最低限でよい	PTAの趣旨（関係者の互助による、児童の健全育成、教育の充実、学校・家庭・地域による子育てネットワーク）を損なわないように配慮しつつ、時代や会員の皆さんの考えにマッチしたPTAになるよう、更なる見直しを行いたいと考えております。
34	日々の生活で忙しく、PTAの委員活動まで行う気力がありません。 最低限の活動のみになるよう委員会や活動を減らしていただきたいです。	PTAの趣旨（関係者の互助による、児童の健全育成、教育の充実、学校・家庭・地域による子育てネットワーク）を損なわないように配慮しつつ、時代や会員の皆さんの考えにマッチしたPTAになるよう、更なる見直しを行いたいと考えております。 日々の諸々お疲れさまです。無理のない範囲でご参加いただければ幸いです。

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問1：PTAの委員会活動についてのご意見があればお聞かせください

No.	ご意見	検討結果
35	日頃活動にあたって下さっている方にはとても感謝していますが、仕事や介護など様々な生活があるため6年間で何度もやらなければならないと言うのは、難しい部分があります。せめて6年間で一度にして欲しいです。	仕事や介護などお疲れさまです。 これまでは暗黙のルールで6年間のうちに2回は委員会が役員に参加しないといけなような雰囲気がありましたが、今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃する方向で検討しております。 なお、PTAの趣旨（関係者の互助による、児童の健全育成、教育の充実、学校・家庭・地域による子育てネットワーク）に賛同いただけましたら、無理のない範囲でご参加いただければ幸いです。
36	スポーツ大会の補助員について、正直大会に参加するメンバー、有志や関係者の手伝いだけで回せる印象を受けた。本来はPTAは、子供達のサポートが目的だと思うが、スポーツ大会は親の為の大会であり、趣旨がずれている気がした。	ご意見ありがとうございます。スポーツ大会は親同士の親睦を図りネットワークを構築する手段の一つであり、間接的に児童の為になることを期待しております。ご指摘いただいた点を踏まえ、必要の都度スポーツサークルのメンバーを中心にボランティアを募るように見直しを考えております。会費の用途においては児童に広く還元されるものにウェイトを置くなどの見直しを考えております。
37	会報委員と他の委員で、その業務量の差を実感しています。 会報委員は会報誌を制作するというミッションかと思いますが、何を軸に誌面を構成すれば良いのか、方針の指南がPTA本部から特に無いまま、一から制作を進めなければなりませんでした。 それは誌面づくりを自由にできる一方で、単なる一委員にとっては、責任と業務量の負荷が大きすぎるのでは？と感じました。 PTAの広報媒体は会報誌とブログになっていると思いますので、広報という位置付けの役員さん(※)主導のもとで会報を制作すれば、会報委員は作業部隊として無理なく活動できるのでは、と思っています。 (作業部隊であれば、7月号と3月号で都度メンバーを募っても良いかと思っています) ※もしかしたら書記が広報を担っているのかもしれませんが、少なくとも昨年度は特に指示はありませんでした。 同時に、ブログと連携することで記事の重複を避けられます。 また、新年度の委員が決まってからすぐに7月号に取り掛からなければならず、5月の引き継ぎでたくさん情報を一度に聞いて理解するのが本当に大変でした。 ですので、会報(広報)は役員2名体制で主導していただき、任期がそれぞれ1年ずつで交代する形にいただければ、毎年のスタートアップでのドタバタが軽減できると思います。 応募者数が大変少ないこともあり、業務軽減で簡略化や廃止に舵を切るか、難しい局面に来ているのだと実感しました。 できれば「せきだい」はなくさずに、作業量を軽減しつつ続いてほしいと思っています。 長々と申し訳ありません。	各委員にご参加いただき、また会報制作においてもご尽力いただきありがとうございます。 会報の「せきだい」は続いてほしいと願っておりますが、そのためにも必ずしも前例を踏襲せずとも、会報の発行頻度、時期、内容、デザイン、媒体等を含め、活動メンバーで議論の上、各年の活動メンバーでできることを無理のない範囲で取り組んでいくのが良いと考えております。 なお、事務局（フラットな組織を意識し、今後は本部を事務局と呼んでいきたいと思っています）からも役員1名が参加いたしますが、事務局で決めたことを各活動で形にするというよりは、各活動における主体は活動メンバーとするのが良いのではないかと考えております。
38	昭和？から続く負の遺産のシステムだと思います。子どもが減り、親も共働きの増え、実質賃金も下がり続けている中で、どうして非効率なボランティア活動を半強制的に受け入れなければならないのかと不満しかありません。家庭それぞれに事情がある中で、参加できる人が参加すれば良いと思います。また任意制度で参加者がいないのであれば、やはり必要視されていない証拠だと思います。 絶対無くなるなら癒みたいなシステムですが、せめて選択制で不参加を選んだ家庭の子どもが不平等無く学校行事に参加できる日を切に願います。	今回、PTAが任意加入であることを前提に入退会手続きを明確化する方向で見直しを考えておりますが、当然、未加入者に対する差別的な取り扱いは行わないこととし、児童に不利益が生じないように努めるようにいたします。 また、これまでは暗黙のルールで6年間のうちに2回は委員会が役員に参加しないといけなような雰囲気がありましたが、今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。 なお、PTAの趣旨（関係者の互助による、児童の健全育成、教育の充実、学校・家庭・地域による子育てネットワーク）に賛同いただけましたら、無理のない範囲でご参加いただければ幸いです。

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問1：PTAの委員会活動についてのご意見があればお聞かせください

No.	ご意見	検討結果
39	普段より活動頂きありがとうございます。同級並びに他学年の親御さんと交流の場を提供頂き、知り合う機会となるのはPTA無しでは難しいと感じています。	ありがとうございます、引き続きご理解ご協力の程よろしくお願いたします。
40	本部のみなさま、いつもPTA活動にご尽力いただきましてありがとうございます。 委員を受けるか検討するにあたり、具体的な活動内容・何日学校へ行く必要があるのか等、分からないため判断が難しいとよく聞きます。 また、委員の立候補が複数名いた場合、以前は保護者会の際じゃんけんで決めていましたが、今はどのように決められているのか不透明で公平さを欠く感じます。 ボランティア活動について、例えば図書ボランティアは活動日が多く、真面目に活動して下さっている方は委員より学校へ足を運ぶ回数が多いですが、委員とボランティアの違いについてその辺りはどうなのでしょう？	PTA活動について、全体で集まる日は4月に新旧メンバーで引継ぎを兼ねて集まる1回を基本に考えております。各活動におけるスケジュールについては、前年度までの活動を参考に、当年度の新メンバーで予定を確認しながら決めていただくことを想定しております。 活動メンバーの決め方については、今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思っくださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。 委員とボランティアの違いについて、鋭いご指摘ありがとうございます。いずれも目的は児童のためであり、今回手挙げ制とすることで、その違いは無くなっていくものと思います。目指すべきは各活動が図書ボランティア等のように主体的に集まり、活動していけるようにしたいと考えています。参考までに、今回、「委員会」という名称を「活動」と呼ぶようにするも、将来的には活動（現委員会）が各ボランティア活動と同様・同列になっていくことも見越すという気持ちを入れて変更を考えております。
41	本部の皆様はじめ、役員の皆様 いつもお忙しい中お時間を割いてくださりありがとうございます。 また、このように活動の改革に動いてくださり、心より感謝申し上げます。 委員会活動について、日頃より関台保護者同志で話をしておりますが、親の負担も大きく、皆なんとか早く終わらせたい、というのが現状で、子供にとって本当に必要な活動であればまた違うのでは思うのですが、どの委員も本当に必要ではないように感じております。 会報委員はとても大変と聞いておりますが、紙ではなく動画配信などでも良いと思います。 保健厚生、校外指導委員はどのような活動をしていらっしゃるのか知らない人の方が多いかもしれません。 ベルマークは委員を立てずとも良いのではと思いますし、運動会委員もボランティアでは難しいのでしょうか。 また、学級代表はクラス会費の使い道を決定されていると思いますが、先生も大変お忙しい中で、お互いその時間や労力を割いてまで必要なのか、と疑問に思います。 働いている保護者も多く、ぜひ良い形に変化できればと願っております。よろしくお願いたします、	ご意見ありがとうございます。 今回、活動量とその効果を踏まえ、保健厚生委員とベルマーク委員は廃止の方向で考えております。それ以外の各活動については、必要性を各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思っくださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃する方向で検討しており、必要性が失われた活動の新陳代謝も新たな仕組みにおいて進むものと想定しております。 また、活動内容も必ずしも前例踏襲ではなく、各年の活動メンバーで議論の上、無理なくできる範囲のことに取り組んでいくのが良いと考えております。 上記考えのもと、会報の「せきだい」についても、発行頻度、時期、内容、デザイン、媒体（紙/動画）等を含め、活動メンバーで議論の上で決めていくのが良いと考えます。 なお、学級代表は活動実態に合わせて学年活動としたいと思いますが、学校の教育カリキュラムにはないものの学年に応じた児童にとってためになる企画があれば、学校の負担が過度でなければ理解は得られるものと考えます。 活動内容がアナウンスが十分でないのご指摘については、参加を手挙げ制にすることを踏まえ、これまで以上に活動の紹介や価値訴求を行っていく必要があると考えております。
42	本部役員で大筋を決めていただく現行のやり方では、その他の委員会役員は、ほとんど名前だけというのが実態な気がします。 そうであれば、こんなに委員会の種類を作ることも、それぞれに数名を選出する必要もないのでは？と、感じます。 さらに、あくまでも任意参加のPTAであるのに、欠員があるところは指名や抽選とするやり方は、納得できるものではありません。 そんなことをするなら、全部、私が1人で引き受けるので、嫌な思いをする方を無くしたい、という気持ちになります。 なぜ、引き受け手が居ないのか、なぜ、やりたくないのか、そこを、もっと考える必要があるのでは無いでしょうか？ 主人を誘ってみたら、めんどくさいから絶対ヤダ！と。 PTAの活動自体が、全然見えてこないの、興味もわかないし、わからないのに入らなきゃいけない鬱陶しさ、不安、色々聞きたくてもどこに聞けば良いのか分からない、そういう風に見えています。	ご意見ありがとうございます。今後は、前例踏襲や事務局（フラットな組織を意識し、今後は本部を事務局と呼んでいきたいと思います）が決めたことを各委員（今後は、「委員会」は「活動」と呼び、「委員」は「活動メンバー」と呼んでいきたいと思います）が実行するというスタイルではなく、活動メンバーで議論の上、各年の活動メンバーでできることを無理のない範囲で取り組んでいくのが良いと考えております。 これまでは暗黙のルールで6年間のうちに2回は委員会が役員に参加しないといけなような雰囲気がありましたが、今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思っくださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。 なお、PTAの趣旨（関係者の互助による、児童の健全育成、教育の充実、学校・家庭・地域による子育てネットワーク）に賛同いただけましたら、無理のない範囲でご参加いただければ幸いです。

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問1：PTAの委員会活動についてのご意見があればお聞かせください

No.	ご意見	検討結果
43	<p>会報委員と学代を経験しましたが、その業務量の差を実感しています。 会報委員は会報誌を制作するというミッションかと思いますが、何を軸に誌面を構成すれば良いのか、方針の指南がPTA本部から特に無いまま、一から制作を進めなければなりませんでした。 それは誌面づくりを自由にできる一方で、単なる一委員にとっては、責任と業務量の負荷が大きすぎるのでは？と感じました。 PTAの広報媒体は会報誌とブログになっていると思いますので、広報という位置付けの役員さん(※)主導のもとで会報を制作すれば、会報委員は作業部隊として無理</p>	<p>今回見直しは、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思ってくださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。 なお、事務局（フラットな組織を意識し、今後は本部を事務局と呼んでいきたいと思います）における活動の価値訴求の役割は高まるものの、事務局の業務や作業についても効率化を図り、先ずは既存の人数で対応を行いたいと考えております。 また、ベルマーク活動については、活動量とその効果の観点から廃止の方向で検討しております。 会報の「せきだい」については、ご指摘のような見直しも採り得ると思われませんが、具体的には活動メンバーで議論の上で決めていくのが良いと考えます。</p>
44	<p>本部役員の皆様、いつもありがとうございます。 結論から言うと、会報委員解散していいのではと思います。 主な理由として ・校長先生と副校長先生の仕事を増やしてしまっている ・依頼される側も義務で引き受けてる感 自分のできる範囲（時間や能力的な問題など）で何かお役に立てればと思っている人は少なくないと思います。 しかし会報委員は役に立っている実感も特になく、むしろ人の邪魔しかしてないというのが感想です。 そもそも会報委員とは何ぞということで「会の活動状況、学校の教育情報を会員に知らせる。」とPTA会則にありますが、さくら連絡網やお便りなどで十分だよなど。会の活動状況とかわからないですし、取材依頼していいのとかもわからないのですよね。めんどくさくてもいいわって思ってたのいいやじゃないですか。 委員会が取材したいことよりも、取材受けたい、何か発信したいことがある人を探したほうがいいのではと考えたりしています。（いるのかは不明） 作る側も依頼される側も義務でやってるなら、無駄なのでもうやめたほうがいいです。 もし発行しなくてはいけない理由があるなら仕方ないですが、せめて年1回発行とかに変更してあげたいです。 もう少し客観的な意見だと、まあやはり皆さんそんなに活動に使える時間ってないよなところですよね。比較的動ける人がやることになるので、ひとりの負担が多くなる。そして担当する役割によって楽しく感じられる人、無な人、きつい人で分かれそう。 例年そんな感じならひっそり心身共にボロボロになった方も多いのでは、と思うとなんだか悲しくなりますね。効率化に重点を置きすぎるとなんだか味気ない無意味な組織になる気もしました。そのへんの塩梅も難しいですね。</p>	<p>会報の「せきだい」については、制作に携わってくださっている方の負担は大きいものの、その甲斐あって学校やPTAのことがよく伝わるものに仕上がっていると感じております。 また、「せきだい」は、東京都PTA協議会が主催する広報コンクールにおいても2024年度に奨励賞を受賞しており、相対的に見ても素晴らしいものと思えます。 ただ、会報制作の負担については複数の声をいただいており、負担軽減の見直し余地はあるものと思われまます。無理なくやれる範囲や方法等について、具体的には各年の活動メンバーで議論の上で決めていくのが良いと考えます。</p>
45	<p>校外指導委員は、引き受ける際に聞いた内容よりずっと負担が大きかった。頻度も多い（町会長への挨拶回り+夏祭り+各種担当イベント+各種打合せ等）ので、人数を増やした方が良い。挨拶状等の印刷物を作る必要がある旨、委員になる人に事前に知らせた方が良い（急に必要になり困ったので）</p>	<p>今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思ってくださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃する方向で検討しております。活動についても、必ずしも前例を踏襲する必要は無く、手を挙げてくださった活動メンバーで無理なくできる範囲のものを対応していくことで良いと思います。</p>
46	<p>毎年同じ取り組みと改善や工夫をすべきところを示しながら取り組んでいただくと良いのではないかと思います。</p>	<p>各活動については、事務局（フラットな組織を意識し、今後は本部を事務局と呼んでいきたいと思います）からも役員1名が参加いたしますが、事務局で決めたことを各活動で形にするというよりは、各活動における主体は活動メンバーとするのが良いのではないかと考えております。</p>

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問1 : PTAの委員会活動についてのご意見があればお聞かせください

No.	ご意見	検討結果
47	毎年委員決めの時期は立候補して下さる方に感謝しつつ、なかなか決まらない時は心配で不安な気持ちになります。一人あたりの委員の回数は決まっていなくても、なんとなく2回はしないと、という雰囲気もあつたりします。義務感で委員にはなつたけれど、結局活動にはほとんど参加しない方もおられると聞きます。そこまでして委員会活動が必要でしょうか？学年ごとに委員の人数が割り当てられていますが、本当にそんなに必要なのかというところから見直しをしていただければと思います。	これまでは暗黙のルールで6年間のうちに2回は委員会が役員に参加しないといけないような雰囲気がありました。今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃する方向で検討しております。 なお、PTAの趣旨（関係者の互助による、児童の健全育成、教育の充実、学校・家庭・地域による子育てネットワーク）に賛同いただけましたら、無理のない範囲でご参加いただければ幸いです。
48	特にありません。	-
49	特にございません	-
50	特になし	-
51	特になし	-

※ 頂いたご意見について、長文や個人が特定される可能性のある表記は、趣旨を損なわない範囲で修正しております。ご了承ください

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問2 : PTA会費(現行6,000円/年)及びその用途についてご意見があればお聞かせください

No.	ご意見	検討結果
1	1、学級活動費はイベントをするなら親子で参加できる時、内容を検討する。学校行事だけでも充実しているので予算をつけてやる必要はない。学級代表も必要なくなる。 2、慶弔費はどの範囲で使われているのか。蓄える必要があるか。不透明。 3、予備費は何に使われているのか、不透明。 全体に高い。検討していただき削れるところは削っていく。	学級代表は活動実態に合わせて学年活動としたいと思いますが、必要と感じ、やれる・やりたいとご意見をいただく方が、学校の教育カリキュラムにはないものの学年に応じた児童にとってためになる企画があればPTAの活動趣旨とも合致するため、活動を応援していきたいと考えております。 慶弔費は今回一部見直し、教職員、保護者、児童の死亡時の弔慰金(1万円)となります。なお、現在も積立は行っておりません。 予備費は、想定外の支出に備えるものです。例えば、各活動での予算超過時の対応等に活用されます。 ご意見いただきました会費の金額は、今回活動内容の見直し等を踏まえ、減額の方で検討しております。
2	6,000円でやっていただいておりますが、物価も高騰しているので、現行の金額で活動に支障はないのか、値上げも致し方ないと思っています。	ありがとうございます。今回活動内容の見直し等を踏まえ、減額の方で検討しております。
3	6000円は少し高いと感じています。 中でも関台小部活動費やスポーツ大会応援費等は子どもたちが参加している活動ではないのではないかと思いますので、そこにPTA費が使用されていることに疑問を感じます。 子どものためなら支払いますが、保護者の活動のために支払うのは気が進みません。	今回活動内容の見直し等を踏まえ、減額の方で検討しております。 また、用途に関する基本スタンスや、支出基準を明確化したいと考えております。用途に関する基本スタンスの一つとして、範囲の限定された保護者を中心に還元される支援は、受益者と負担者の対応バランスの観点から原則行わない(ただし、サークル活動の広報、周知用チラシ経費、P連分担金は、保護者全体に対するものとして支出対象)と整理していきたいと考えております。
4	PTAから発行される紙媒体は一切作らず、全てデジタル化したら経費を抑えられるか。	会報活動の中で媒体についても検討していくのが良いと考えております。
5	PTAの委員活動減らすことで、学校側や一部の保護者に負担がかかる場合なども考慮すると、会費はいまのままでもいいと思います。	会費の金額は、今回活動内容の見直し等を踏まえ、減額の方で検討しております。
6	つばき学級に在籍しております。まだ先の話しになりますが、つばき学級の在籍者が一年生から六年生まで揃った段階で文京区支援級連絡協議会というのに加入する事になるかと思っております。区内の支援級設置校は全校加入しており会費が一人300円かかります。 2026年度より正式に会費を支払う場合 原則全校、全員加入という特性を踏まえると 会費をPTA会費から捻出してもらうのはどうでしょうか？	ご意見ありがとうございます。PTAと協議会の両方に加入することに対する負担についてのご意見と受け止めました。文京区支援級連絡協議会のホームページに掲載されている運営規約を確認いたしましたが、協議会の会員資格は保護者であり、会費は世帯単位での支払いとお見受けいたしました。また、協議会への加入に伴う主な受益者は協議会に加入する保護者であると想定します。 今回のご意見についてお気持ちは理解いたしますが、一方でPTA見直しの一環としてPTA会費の用途の基本スタンスも明確にしたいと考えております。その一つとして、PTA会員の児童を中心に広く還元される活動への支援や活動実費は維持強化の一方、児童個人、保護者個人に直接的に還元される支出は、受益者と負担者の対応バランスの観点から原則行わない方向で整理を考えております。 ご理解いただければ幸いです。
7	とてもPTA活動が活発な学校の印象がありますし、子供も触れ合いに楽しんでいると思います。 用途に不満はございません。	現状の会費についてご理解いただき、ありがとうございます。
8	なし	-
9	なし	-
10	もっと金額をあげて外部委託できるものはすれば良いと思う	現状においても運動会における警備は警備会社に、会報におけるデザインは外部のデザイナーに外注しているところです。 「PTAの外注」がキーワードとしてニュースなどでも取り上げられており、調べてみましたが、PTA向けのソリューションとして打ち出されているもののうち私たちのPTAで活用できそうな内容は、警備や会報デザインの他は印刷、講演依頼ぐらいのようです(例えば、会報の取材や、PTAの運営まで委託できる物は見受けられませんでした)。

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問2 : PTA会費(現行6,000円/年)及びその用途についてご意見があればお聞かせください

No.	ご意見	検討結果
11	ベルマークだのおやじの会などどうしようもないものにお金を使わないでほしい	ベルマークは活動量とその効果の観点から今回廃止の方向で検討しております。おやじの会の費用は、子供のためのドッチビー大会や、ハロウィン盆踊りの開催費用となります。なお、2023年度については、費用の一部は文京区からの助成も受けております(助成は収入に計上)。
12	他校の平均的なPTA会費よりは高いので、下げられる余地があるならば検討して頂けると良いと思います。	ご指摘の通り、都内小学校PTA会費の平均は2,400円/年〔総務省 小売物価統計調査 2023年 PTA会費(公立小学校) 東京都区部〕と比較し、高い水準にあると認識しております。会費の金額は、今回活動内容の見直し等を踏まえ、減額の方向で検討しております。
13	以前23区のPTA会費を確認した際(調べた)に文京区は、年間支払が高かったのを記憶しております。その統計はコロナ前のデータでしたが、おおよそ4000円程度でした。ただ、内容についてはわかりませんのでそれが高いのかやすいのかも正直不明ではあります。 例えば本学予算だと卒対活動費をどのような事に使用しているのかもわかりません。卒業アルバム補助は、1人3200円あるのはありがたいと思います。アルバムが2万円位します。また様々なP連の活動(合唱やバレーボール、卓球等)こちらも活動する参加することが出来ない皆様にはどのようなことに実際使われてるのかわかりません。子どもたちに様々な体験をみたい趣旨などは理解できます!	予算の具体的な用途が分かりにくいのご意見と受け止めました。現状、卒業記念、サークル活動の補助は一定額を補助としてお渡しした以降は、各活動にて管理頂いている状況です。今後は、用途の基本スタンスと支出基準を定め実費精算とし、特に高額なものは用途をより分かりやすく共有していくように見直していきたいと思っております。
14	任意のはずが入会届もなく、強制的に口座が把握され会費が引き落とされるのはやり方として疑問でした。また、毎月の手数料は無駄だと思うので、年単位での引き落としを基本とし、転校などがあれば返金ではどうでしょうか。そもそも学校に必要な図書などはPTAを介さず教材として引き落としを構いません。その上で、費用のかかる行事は参加者で実費負担としてもいいと思います。 用途の中で部活への補助は不要だと思います。会費でやるべき活動でしょうか? 上にも記載しましたが、印刷物を減らし電子化することで予算の縮小ができると思います。	会費徴収方法のご意見ありがとうございます。 確認したところ、従前、PTA会費は給食費との合算で引き落としをしておりましたが、2023年度の給食費無償化にともない現状は教材費との合算で引き落としをさせていただいております。また、従前の給食費は8月を除き毎月の引き落としがありましたが、教材費は引き落としが無い月もあり、PTA会費だけが引き落としされている月も発生しておりました。引き落としの手間と手数料を考慮し、今後は、年間一括で引き落としをさせていただき、年度途中の転校などがあれば返金する方向で検討・調整いたします。 また、図書室の書籍購入費用の在り方については現在学校と相談を進めているところです。 また、サークル活動への補助についても支出基準を定め、PTA会員全体への広報活動に限定しての実費補助への見直しの方向で検討しております。 印刷物のご提案は主には会報「せきだい」を差している想定いたしますが、会報の媒体については活動メンバーを主体に検討していければと考えております。
15	会費は妥当だと思います	現状の会費についてご理解いただき、ありがとうございます。
16	会費は特に問題ないと思います。お金で解決できることがあるなら多少高くなっても構わないと個人的には思います。用途はじっくり読むと?と感ずる点もありますが、まあなんでもいいです。有意義に使ってください。	現状の会費についてご理解いただき、ありがとうございます。
17	余剰金や繰越金もあるので、はっきり言うと高い印象を受けるし、使用用途が分かりにくい。	会費を頻繁に増減させず安定化させる観点から、繰越金は20年掛けて圧縮していく方向で会費を設計する考えです。 用途について、今後は、基本スタンスと支出基準を定め実費精算とし、特に高額なものは用途をより分かりやすく共有していくように見直していきたいと思っております。
18	冷水機の増設に利用できれば良いと思いました。(夏場は水筒だけで不足したり、忘れてしまったときに冷水機が利用できるのですが、台数が少なく利用しにくいそうなので。)	学校の備品に関するご意見ありがとうございます、学校にもご意見をお伝えしたいと思います。
19	執行部と委員長には通信費として、少しは経費を渡してもいいと感じる。1通話10円とかって請求を書く時間が気の毒。	PTA活動は原則Stockというチャットでの情報交換機能を含む情報サービスを利用して行っており、電話での通話頻度は僅少であると想定しております。

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問2 : PTA会費(現行6,000円/年)及びその用途についてご意見があればお聞かせください

No.	ご意見	検討結果
20	子供たちの為ならいいと思う	現状の会費についてご理解いただき、ありがとうございます。
21	子供にとって必要なことであれば良いと思いますが、子供に関係ない費用はPTA会費ではなくて良いと思います。	今後は、基本スタンスと支出基準を定め受益者を児童によりフォーカスする方向で検討しております。
22	子供全員が、学習に必須なものは、各家庭で購入するのが公平だと思います。これは、道具箱の事を言っています。お祝いとしてもらうのは嬉しいですが、消耗品の類をPTA会費で賄う事に疑問を感じます。 卒業祝い(記念品)は相応しいと思うのですが、お道具箱は個々で用意し、会費はもっと有意義に、もしくは、この分を差し引いて欲しいです。 さらに、月600円が、決して高いわけではないと思いますが、600円になった根拠は何ですか？ 300円では駄目ですか？ 300円じゃ、なにも出来ないよ！と、いうご意見がありましたら、PTAの本来の目的を、再考してもらいたいです。会費ありきというのは、この時代にそぐわないと感じます。 もし、このまま会費も変わらず、組織にも改革が見られないようでしたら、私は残念ですが、PTAを退会します。 PTAでなくても、子供や学校のお手伝いは出来ると思っています。 また、兄弟がいる家庭は、下の子を半額にするなど、負担を考慮してもらえないか？ 会費を払って、PTAの役員もやる人は、ボランティアの精神ではあっても、そうではない方との負担の差が大きいです。 役員をやる人は、会費は半分にするとか、何かで補えないでしょうか？	今後はPTA加入について任意参加であることを明確化することに伴い、事務局としてはPTAの必要性や価値訴求は図るものの、一定程度の未加入者が生じることを前提に会費の使途(支出)についても設計する必要があると考えております。 具体的には、今後は児童を中心に会員全体に広く還元されるものにフォーカスし、一方で特定の個人や限定された範囲に還元されるものは見直しを行う方向で検討しております。ご指摘の入学記念のお道具箱は廃止し、卒業記念品は卒業記念活動の中で6年生から徴収する実費の中で必要に応じて実施する方向で検討しております。 また、会費についてもPTAの活動見直しや、会費の使途に関する基本スタンスと支出基準を定めたいと考えて、20年先まで試算の上で再設定する方向で検討しております。 兄弟のいらっしゃるご家庭の会費の扱いについてですが、今回の見直しに伴い会費の支出に対する受益者は児童であることがより色濃くなると考えております。そして家庭単位で見えた場合、児童数に比例し受益の度合いが高まることから、児童数に応じ会費をお納めいただくことが適当であると考えております。 また、役員や活動メンバー、ボランティアに協力してくださった方への何らかのインセンティブ(金銭以外も含む)も検討したいと思っております。
23	実現したい内容ごとにクラウドファンディング形式にしたらどうでしょう。	募集や精算の事務手間、保護者の負担も考慮の上、使える場面を検討する必要があるかと思われませんが、アイデアとしては面白く、例えば大規模な予算を執行する周年行事についてはクラウドファンディング等を組み合わせたいということも可能かもしれません。
24	年度内に使い切ってあまりプールしない方が良いかと思えます。(物価高でこの先運営費が不足するかもしれませんが…)	会費を頻繁に増減させず安定化させる観点から、繰越金は20年掛けて圧縮していく方向で会費を設計する考えです。
25	必要であれば会費を値上げしても構わないと思えます。	寛容なご意見、ありがとうございます。
26	必要性があまり見えません。部活は参加者で集めればいいのではないのでしょうか。	今後は、基本スタンスと支出基準を定め受益者を児童によりフォーカスする方向で検討しております。サークル活動への補助についても支出基準を定め、PTA会員全体への広報活動に限定しての実費補助への見直しの方向で検討しております。
27	極力効率化のために外部委託することなどに利用し、最後はこどもたちのためになる、という趣旨に沿った使い道であれば何ら問題ないと思えます。	現状においても運動会における警備は警備会社に、会報におけるデザインは外部のデザイナーに外注しているところ です。 「PTAの外注」がキーワードとしてニュースなどでも取り上げられており、調べてみましたが、PTA向けのソリューションとして打ち出されているもののうち私たちのPTAで活用できそうな内容は、警備や会報デザインの他は印刷、講演依頼ぐらいのようです(例えば、会報の取材や、PTAの運営まで委託できる物は見受けられませんでした)。
28	無駄だと思っています。本当に必要な事に絞り、各項目は必要な家庭に対し出費して欲しいと思いますが、昭和から続いているこの古いシステムは、結局負の遺産として変わらないだろうなと諦めてますが、これからは子供たちが親になって同じ負担をすると想像すると、日本自体に悲観してしまいます。	時代や会員の皆さんの考えにマッチしたPTAになるよう、更なる見直しを行いたいと考えております。色々な意見は出てくるとは思いますが、子供たちの手本となるべく、変えるべきものはあるべき姿に変えていきたいと思っております。 具体的には、PTAの趣旨に照らし、児童のためになる支出にフォーカスしていきたいと考えております。
29	特にございません	-

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問2 : PTA会費(現行6,000円/年)及びその用途についてご意見があればお聞かせください

No.	ご意見	検討結果
30	特になし	-
31	特になし	-
32	特に異存はございません。 委員等を引き受けてくださってる方には、報酬等があっても良いのではないかと考えております。そのために会費をいくらか上げる、という話があっても別に異存はございません。	役員や活動メンバー、ボランティアに協力してくださった方への何らかのインセンティブ(金銭以外も含む)についても検討したいと思います。
33	繰越金が300万超と、年間収入のおよそ倍額あるのですが、これは有効活用しないのでしょうか？ 毎年繰り越しているうちに、物価も上昇していますし、どこかでエイ！と使ってしまうのでしょうか。 また、上記からも、6000円が適正なのか、議論の余地がありそうです。	実は繰越金約300万円のほかに周年行事の積立金も200万円超あります(2025年度の100周年に向けて2024年度は積立額がピークの年ではあるのですが、90周年行事の支出が約100万円だったことを踏まえると積立金も過剰な状況)。 繰越金と積立金を圧縮する方向で、この先20年を見据えた試算を行った上で新たな会費を設定したいと考えております。
34	負担感は特にありません。適切に使われていると感じます。	現状の会費についてご理解いただき、ありがとうございます。
35	透明性を持って運用されていれば特に異論ありません	現状の会費についてご理解いただき、ありがとうございます。
36	連絡協議会では、一人300円の年会費がかかります。支援級の保護者であるだけで、原則全員負担する必要があるため、PTA会費から捻出して頂きたいと考えております。	ご意見ありがとうございます。PTAと協議会の両方に加入することに対する負担についてののご意見と受け止めました。文京区支援級連絡協議会のホームページに掲載されている運営規約を確認しましたが、協議会の会員資格は保護者であり、会費は世帯単位での支払いとお見受けいたしました。また、協議会への加入に伴う主な受益者は協議会に加入する保護者であると想定します。 今回のご意見についてお気持ちは理解いたしますが、一方でPTA見直しの一環としてPTA会費の用途の基本スタンスも明確にしたいと考えております。その一つとして、PTA会員の児童を中心に広く還元される活動への支援や活動実費は維持強化の一方、児童個人、保護者個人に直接的に還元される支出は、受益者と負担者の対応バランスの観点から原則行わない方向で整理を考えております。 ご理解いただければ幸いです。
37	部活動費になぜ利用しない者がお金を払わなければならないのか疑問です。 部活をされる方が払えばよいのではないのでしょうか。 少しでもPTA費を安くして頂きたいです。	会費について、今後は、基本スタンスと支出基準を定め受益者を児童によりフォーカスする方向で検討しております。サークル活動への補助についても支出基準を定め、PTA会員全体への広報活動に限定しての実費補助への見直しの方向で検討しております。
38	高いと思います。総務省統計局「小売物価統計調査(動向編)2022年」では、東京の区部での平均が2720円です。 子どものために使われている部分には納得しますが、部活動費など、一部の方しかし享受できない保護者向けの用途は疑問が残ります。	今回活動内容の見直し等を踏まえ、減額の方向で検討しております。 また、用途に関する基本スタンスや、支出基準を明確化したいと考えております。用途に関する基本スタンスの一つとして、サークル活動など、範囲の限定された保護者を中心に還元される支援は、受益者と負担者の対応バランスの観点から原則行わない(ただし、サークル活動の広報、周知用チラシ経費、P連分担金は、保護者全体に対するものとして支出対象)と整理していきたいと考えております。
39	(難しいとは思いますが) 会員資格を「賛助会員」と「提供会員」にわけて会費を差別化したら不公平感が薄まるような気がします。また、サークル活動への支出が問題になっているようですが、サークルは提供会員になり得る人材がプールされている場所で、そのような方々のご奉仕によって学校運営が成り立っており、他校との外交の役割も担っていることを周知すれば、理解が得られるのではないかと思います。無知と無関心の状態から好循環は生まれませんので、やはりPTA活動を自分ごととして感じてもらうためには、広報がこまめに情報を発信して理解を得る一歩間が必要なのだと思います。	ご提案ありがとうございます。ご提案いただいた方法も一つの選択肢かとは思われますが、会費はPTA趣旨に沿って児童に広く還元することにフォーカスして活用しつつ、一方でPTAが互助活動であることに立ち返り、必要と感じ、やれる・やりたいとご感想の方の手挙げ制による活動に変えていきたいと考えております。ご理解、ご協力いただければ幸いです。

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問3：その他PTAの在り方や運営等について何なりとご意見お聞かせください

No.	ご意見	検討結果
1	Home&Schoolアプリをモッド学校とPTAとで活用してほしいです。PTAでは利用できないのかもしれませんが……。他校と比べ、少なくとも6年生は利用されてないと感じます……。	学校で利用している連絡ツール「C4th Home&School」について、提供会社のEDUCOM社にPTAでも利用可能か問い合わせたところ、現在同サービスについては新規販売を停止中で今後のことは販売再開の可能性はあるものの時期等は未定とのことでした。取り急ぎの検討は叶わず、ご了承ください。
2	PTAがあるからこそ様々なことがなりたっているのは理解しておりますが、全部が全部必要なのでしょうか？ 熟考なく継続されているものもある気がします。常に毎年必要なのか検討いただきたいです。	今回、活動量とその効果を踏まえ、保健厚生委員とベルマーク委員は廃止の方向で考えております。一方、卒業記念は継続的な活動支援の観点から正式にPTA活動に組み入れる方向で検討しております。今後も不断の見直しを続けていく考えです。
3	PTAがどのくらい大変（時間を使うのか）か分かりません。恐らく入学時に資料など貰っているのかもしれませんが、その時にあまり興味を持たないと、そのまま分からないまま時間が過ぎていきます… もう少しどのような雰囲気か、活動の詳細など、いつでも見れる様な形の情報があって良いなあと思います。	これまでPTA活動の内容が十分に伝わっていない点は大変申し訳ありませんでした。今後は、活動内容とその必要性、保護者として参加することのメリットを訴求していくようにいたします。また、必ずしも前例を踏襲する必要はなく、毎年無理なくできることを活動メンバーで話し合いの上で決めていくようにしたいとは思いますが、参加するに当たり前年度の活動内容や活動ボリュームは参考としてお伝えしていければと思います。
4	PTAが必要ないというような意見も聞かれる時代ではありますが、教員の負担も増えて大変な中やはり、保護者のボランティアは必須と考えます。また、子供の成長からすると、核家族で育てることは大変危険であり、地域の見守りは大事です。子供を育てると言うことは手がかかって当たり前のことですので、スリム化ばかりに重点をおかず、良い形で関わりPTAを存続させていくことを望みます。	PTA活動についてご理解いただきありがとうございます。今回の見直しは、PTAの趣旨を踏まえつつ、時代や会員の皆さんの考えにマッチしたPTAに見直ししていく方向で検討を行っております。
5	PTAが行なっている活動は、必要なもの、意義あるものなのだと思いますが、共働き世帯が増えた現状では、全てをボランティアで賄うのは無理があるのではないのでしょうか。 今後は、他校でも行われているように、積極的に民間団体の力も借りて運営し、ボランティアの負担を減らしていくのが良いと考えます。 また、活動内容も、学校の活動や、習い事、自治体のイベントなどで代替できるものがあるかもしれません。アンケートをとってニーズのないものは廃止するなど、取捨選択も出来るのではないかと思います。	現状、運動会における警備は警備会社に、会報におけるデザインは外部のデザイナーに外注しているところです。「PTAの外注」がキーワードとしてニュースなどでも取り上げられており、調べてみましたが、PTA向けのソリューションとして打ち出されているものうち私たちのPTAで活用できそうな内容は、警備や会報デザインの他は印刷、講演依頼ぐらいのようです（例えば、会報の取材や、PTAの運営まで委託できる物は見受けられませんでした）。今後も不断の見直しを続けていく考えです。
6	PTAに関して、基本的にほとんどの活動は不必要と思っています。 これまで同様会費は徴収した上で、それを必要な場合は外部委託警備等の費用に充てる、それ以外はボランティアを募る形で充分まかなえると思います。 またPTAへは基本「入会」という風潮ですが、基本を「未入会」にして必要性を感じる方のみ「入会」できるようにしていけば、本当の意味での改革になるのではないのでしょうか。	現状、運動会における警備は警備会社に、会報におけるデザインは外部のデザイナーに外注しているところです。「PTAの外注」がキーワードとしてニュースなどでも取り上げられており、調べてみましたが、PTA向けのソリューションとして打ち出されているものうち私たちのPTAで活用できそうな内容は、警備や会報デザインの他は印刷、講演依頼ぐらいのようです（例えば、会報の取材や、PTAの運営まで委託できる物は見受けられませんでした）。 今回、PTAについて今後は任意加入であることを明確化するとともに、入退会の手続きも明確化することを考えております。併せて活動内容の見直し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいとご感想の方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃するなどの見直しを検討しております。PTAの趣旨に立ち返り、その必要性についてこれまで以上に訴求していく方向で検討しております。引き続き、ご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。
7	PTAの活動はボランティアによるものであるべきだと思います。しかし、平等であるべきという不公平感を生まないためなのか、「6年間で必ず何かの役をやらなければならない」、「最終学年になると今までPTAの役員等をしていない人の名前が列挙されアルバム制作係へ強制的に参加をしないでならない」ことなど人伝てに話を聞きます。 義務や強制ではなく、各保護者ができる範囲のことをやりがいを持って主体的に参加いただけるような仕組みにしたい。また、「最終学年で今までやっていない人がやる」という流れを断ち切っていただきたいです。 実際には、保護者は必ず役員等へ参加するというような規則などないのかもしれませんが、面倒な役回り避けるために活動へ参加しておかなければいけないのかという発想になり役員募集の連絡がある度に悩みます。	これまででは暗黙のルールで6年間のうちに2回は委員会が役員に参加しないといけなような雰囲気がありましたが、今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいとご感想の方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃する方向で検討しております。 PTA活動は皆さまの互助で成り立っております。是非、PTA活動にご理解いただき、無理のない範囲でご参加いただければ幸いです。

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問3：その他PTAの在り方や運営等について何なりとご意見お聞かせください

No.	ご意見	検討結果
8	PTAは、任意とされていますが加入前提のシステムで会費も支払もしておりますが、加入しない人がいた場合どう対応するのかなど(記念品等)検討が必要かなと思います。 校外委員会は、地域のお祭りや交通安全等仕事の勤務に融通がきく人しか対応が出来ない？ 保健衛生もP連の大会等参加となるとなかなか難しいです。 親同士も繋がりができるのでPTAは、いい経験になっています。	今後はPTA加入について任意参加であることを明確化することに伴い、事務局としてはPTAの必要性や価値訴求は図るものの、一定程度の未加入が生じることを前提に会費の使途(支出)についても設計する必要があると考えております。 具体的には、今後は児童を中心に会員全体に広く還元されるものにフォーカスし、一方で特定の個人や限定された範囲に還元されるものは見直しを行う方向で検討しております。ご指摘の入学記念のお道具箱は廃止し、卒業記念品は卒業記念活動の中で6年生から徴収する実費の中で必要に応じて実施する方向で検討しております。 校外委員会は、参加いただきやすいよう、安全指導と地域連携に細分化することを考えております。できることを、やれる範囲でご協力いただき、もし、やれないことがあれば活動内容を見直していければと思います。 保健厚生委員については廃止の方向で考えております。
9	PTAは学校の運営には欠かせない組織だと思いますが、みんなが同じ熱量で同じ頻度で参加する事は不可能です。強制力はなくともみんなで協力する姿勢がないと、負担を強いられる人と、全く負担しない人に二分されてしまうので、熱量の低い人も巻き込んで参加しやすい雰囲気があると良いと思います。	仰る通りかと思えます。活動も細分化し、参加しやすい粒度とするとともに、ワンショットのボランティアなども取り入れこの日なら協力できるといったニーズにも対応していければと考えております。また、PTAとしてこれまで以上に活動の紹介や価値訴求を行っていくなどの工夫も行っていきたいと考えております。
10	PTA活動の細分化は難しいと思いますが、ICTを活用して、隙間時間で対応できる活動などがあればいいと思います。	活動単位の粒度も細分化し(「校外指導」を「安全指導」と「地域連携」に分割)、参加しやすい粒度とするとともに、ワンショットのボランティアなども取り入れこの日なら協力できるといったニーズにも対応していければと考えております。
11	いつもありがとうございます。	ありがとうございます。
12	いつもありがとうございます。	ありがとうございます。
13	いつもありがとうございます。	ありがとうございます。
14	いつもありがとうございます。 きめ細かい対応に感謝しております。	ありがとうございます。
15	このさくら連絡網内にて、参加した人だけのPTAコミュニティページ作成しやり取りなど可能でしょうか？ 自分のスマホもアプリで溢れており、もしそのような事が出来たら参加しやすいかなと、漠然とで申し訳ないです。	さくら連絡網にコミュニティ機能はありませんが、各活動(現委員会)に参加いただいた方は、Stockという情報共有ツールにてコミュニケーションいただける環境を用意しております。
16	さくら連絡網になって、子どもからプリントが届かないということがなくなり便利になった…と思いました。 でも学校からは別のアプリですし、同じ「小学校関連」の連絡があちこちバラバラあるので結局わかりにくいという印象です。 兄弟もいると、他の学校からの連絡もあり、確認漏れも起きます。せめて一箇所で全て確認できるようにしていただくと助かります。	学校で利用している連絡ツール「C4th Home&School」について、提供会社のEDUCOM社にPTAでも利用可能か問い合わせたところ、現在同サービスについては新規販売を停止中で今後のことは販売再開の可能性はあるものの時期等は未定とのことでした。取り急ぎの検討は叶わず、ご了承ください。
17	つばき級の保護者です 文京区支援級連絡協議会は会費が一人300円かかり 2026年度より正式に会費を支払う場合 原則全校、全員加入という特性を踏まえると会費をPTA会費から捻出、 連絡協議会の係は、PTA役員としてカウントしてもらおう事をご検討頂けますでしょうか。 何卒よろしくお願い致します	ご意見ありがとうございます。PTAと協議会の両方に加入することに対する負担についてのご意見と受け止めました。文京区支援級連絡協議会のホームページに掲載されている運営規約を確認いたしましたが、協議会の会員資格は保護者であり、会費は世帯単位での支払いとお見受けいたしました。また、協議会への加入に伴う主な受益者は協議会に加入する保護者であると想定します。 今回のご意見についてお気持ちは理解いたしますが、一方でPTA見直しの一環としてPTA会費の使途の基本スタンスも明確にしたいと考えております。その一つとして、PTA会員の児童を中心に広く還元される活動への支援や活動実費は維持強化の一方、児童個人、保護者個人に直接的に還元される支出は、受益者と負担者の対応バランスの観点から原則行わない方向で整理を考えております。 ご理解いただければ幸いです。

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問3：その他PTAの在り方や運営等について何なりとご意見お聞かせください

No.	ご意見	検討結果
18	なし	-
19	また連絡協議会の係は、PTA役員としてカウントしてもらうのはどうかと思っています。 まだ創設2年目の支援級ですので、学校内での認識もいまいちなのかなと思っていますが、着実に支援が必要な子が増えていますのでつばき級の中に一名PTAに関わる方がいてもいいのかな、とおもっております。	これまでは暗黙のルールで6年間のうちに2回は委員会が役員に参加しないといけないような雰囲気がありましたが、今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいとご意見をくださった方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃する方向で検討しております。 是非、PTA活動等にもご参加いただければ幸いです。
20	クラブ活動等に参加していない（できない）親も他の親と交流できるイベントがあると良い。	ありがとうございます、各活動（旧委員会）への参加を通しての交流も一つの選択肢かと思えます。その他、ニーズがあれば学年活動としての実施も考えられるかと思えます。
21	・委員の括りは学年に関係なく、やりたい方が手を挙げて参加できる環境になれば良いと思いますが、人数が集まらないとき ・役員への投票アンケートの前に、各役員や委員の役割・業務内容を具体的に知れる機会があると良いと思います。	今回、各活動（旧委員会）は学年に関係なく（卒業記念のみ6年生から募集）募集していくように見直ししていく考えです。各活動の人数の枠も撤廃する方向で検討しております。少なくとも2名以上集まれば、必要に応じてボランティアも募集しながら活動できればと思いますが、再募集など行っても人数が集まらなければ活動範囲での活動、それも難しければ当年度は活動休止の想定です。 また、今後は、各活動メンバーを募集する際に、参考として前年度の活動内容などを紹介するなどの工夫ができればと思います。
22	上に記しました通りです。 学校の負担軽減や、生徒の安全、日々の生活の彩りになるような活動であるか、 今までやっていたからという右に倣えではなく、今一度必要な仕事なのか、全体的に見直していただきたいと感じます。	PTAの趣旨（関係者の互助による、児童の健全育成、教育の充実、学校・家庭・地域による子育てネットワーク）を損なわないように配慮しつつ、時代や会員の皆さんの考えにマッチしたPTAになるよう、更なる見直しを行いたいと考えております。
23	仕事をしていたり、習い事などもあり忙しく、役員等やれそうにありません。 会費が増えても構わないので、外部委託にしてもらえると助かります。	活動も細分化し、参加しやすい粒度とするとともに、ワンショットのボランティアなども取り入れこの日なら協力できるというニーズにも対応していければと考えております。日々お忙しいこととは思いますが、無理のない範囲でご協力いただければ幸いです。
24	代行業者でも可能な活動、そうではない活動を振り分けしていき、本部役員は今まで通り必要と考えるが、派生委員は都度ボランティア募集の方が活動への熱意は維持されるかもしれないと思った。 ただボランティアがいない可能性を考えると不安ではある。	現状、運動会における警備は警備会社に、会報におけるデザインは外部のデザイナーに外注しているところです。「PTAの外注」がキーワードとしてニュースなどでも取り上げられており、調べてみましたが、PTA向けのソリューションとして打ち出されているものうち私たちのPTAで活用できそうな内容は、警備や会報デザイン他は印刷、講演依頼ぐらいいいようです（例えば、会報の取材や、PTAの運営まで委託できる物は見受けられませんでした）。 活動については、必要に応じて都度ボランティアも積極的に取り入れていきたいと思えます。
25	任意加入であることをしっかりと示し、いつでもすぐに退会できる運営にしてほしい。委員決めなども、やりたくない人や保護者会を欠席した人などにくじ引きなどで実質的に強制的にやらせる運営はやめてほしい。	PTAについて今後は任意加入であることを前提に入退会手続きを明確化するとともに、PTAの必要性や価値をこれまで以上に分かりやすく訴求し、ご理解いただいたうえでPTAに加入いただき、活動に参加いただきたいと思います。 なお、これまでは暗黙のルールで6年間のうちに2回は委員会が役員に参加しないといけないような雰囲気がありましたが、今回見直しを実施し、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいとご意見をくださった方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。
26	会長や副会長、委員会の委員長の負担がやや大きいのではないかと考えています。	会長業務は、3名いる副会長と分担しながら対応する等の工夫も可能かと考えております。 各活動は、特定の活動メンバーに責任や負担がなるべく集中することなくフラットな組織で活動ができるよう、「委員長」という役職は廃止したいと考えております（窓口は決めておいた方が良いと思われるので、別途、窓口は設置）。

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問3：その他PTAの在り方や運営等について何なりとご意見お聞かせください

No.	ご意見	検討結果
27	保護者も子どもたちも先生方もなるべくみんなはッピー☆に生きたらいいですね 具体的にはよくわかりません	一人でも多くの児童、保護者、教職員がハッピーになれるようなPTAに見直したいと考えております。 見直しの詳細は、見直し資料をご参照ください。
28	健康的な食事に関する映画上映会を希望します 例えば、いただきます1、いただきます2、の映画など 子どもが味噌汁やご飯を食べること、野菜を食べることにもっと関心を持てるようにしたい	ご提案ありがとうございます。例えば学年活動（今年度であれば学級代表委員会）で実現していくことも可能かもしれません。 今年度であれば学級代表委員にご相談いただくか、次年度以降であれば学年活動メンバーに相談いただくか、又は学年活動メンバーとして実現してみたいかはいかがでしょうか。（今回は匿名のアンケートで学年・組が分からないため取り次げず申し訳ありません）
29	充実しているので感謝しています。中心になり活動していただいている方々のおかげです。これからもよろしく願います。お手伝いを単発で募っていただいていることも参加しやすくよいです。関われることはさせていただきたいです。	ありがとうございます、引き続きご理解ご協力の程よろしく願いたします。
30	入会届がないことが疑問。(すでにあったら申し訳ないです。書いた覚えがないので)	PTAについて今後は任意加入であることを前提に入退会手続きを明確化いたします。
31	共働き家庭が多くなってきていますので、Web会議の利用など効率的に行っていただきたいです。	各活動については、Stockという情報共有ツールにてコミュニケーションいただける環境を用意しております。 Web会議についてもZoom（無料登録も可）等は現状PTAで契約しているツールはありませんが、活動メンバー内で必要があれば使っていただいて差し支えないかと思ます。
32	具体的にPTAの運営にどのぐらい時間を要しているか、どのような手間があるのか、作業が大変なのかが実際のところ、把握できていないので、業務の効率化や保護者の主体的にできる範囲で参加するための方法についてどうしたら良いかわからないところはあります。見える化して頂けるともっとPTAへの運営に対し、関心や参加の気持ちが出てくるのではと思っています。	必ずしも前例を踏襲する必要はなく、毎年無理なくできることを活動メンバーで話し合いの上で決めていくようにしたいとは思いますが、参加するにあたり前年度の活動内容や活動ボリュームは参考としてお伝えしていければと思います。
33	卒対委員はPTAの一つとするか、しないとしても、PTAのしおりに載せるなり、同格としてもう少し周知して良いのではないかと思います。 「卒対」というものを認識している人が少なく、また役員決めでも、例えば2次募集の際、その中よりも卒対をやりたいが卒対が選択肢にないため、抽選対象になるので分かりづらいですし、人数も集まりにくいのではと思っています。 関台の場合は卒対が卒アルも担当していることから、大事な役割かと思ますので、ご意見させていただきました。	ご指摘の通りかと思ます。卒業記念活動について、PTAの活動の一つとして位置づけることで、活動経費の補助やさくら連絡網等PTAのリソースの利用等、PTAとして安定的に活動支援をする方向で考えております。
34	学校側の負担を減らしたいと考えている保護者は多いと思ます。でも現状のPTA活動が本当に学校の為になっているのか、こどもたちの利益になっているのか、そこに疑問を持つ否定派がいるのではないかと思います。ですから委員会活動の事業仕分けを行うのであれば、その活動の「必要性」について学校側の「意見書」を取って公開する手順があれば、より丁寧だと思います。ご参考までに、PTAがない学校では、学校側が必要な時に必要な保護者を指名して協力依頼がありました。指名はその保護者への信頼の証なので、大抵は光栄なこととして受け止められました。また、ノブレスオブリージュの価値観があるので、協力者は尊敬され感謝されました。学校に必要とされている方に対して「暇な人が必要のないことをやっている」と感じる人はいません。否定派の考えを払拭するためにも、学校に必要とされている活動であることを周知してはいかがでしょうかと思ます。例えば自転車安全教室は、本来は小学校に「実施と報告の努力義務」があるものを、学校の負担を減らすために委員会が開催するようになったはずですが、しかしその経緯を知らない方だと「家庭でも教えられるので不要」という発想になってしまいます。ですから非常に面倒ではあるのですが、一つ一つの活動について丁寧な説明が求められるのだと思ます。 最後に、今回はネガティブな意見もあったのではないかと心配しておりますが、皆さまを尊敬して感謝している人間も多いことを忘れていただきたいと思います。いつもありがとうございます。	今回のPTAの見直しにあたっては、学校とも相談しながら進めております。 学校側も予算や教職員の働き方改革の観点から負担を減らしたいという方向にある一方、保護者も共稼ぎ世帯の増加によりPTA活動に充てられる時間が減少しておりその負担感が高まっている状況です。 今回の見直しはPTAは存続させていくことを前提としつつ、上記状況も考慮したうえで、PTAとして必要なものうち、できることをやるというスタンスで考えております。

※ 頂いたご意見について、長文や個人が特定される可能性のある表記は、趣旨を損なわない範囲で修正しております。ご了承ください

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問3：その他PTAの在り方や運営等について何なりとご意見お聞かせください

No.	ご意見	検討結果
35	<p>実現したい項目ごとに ・やりたい人(その中でリーダーとなる人) 賛同する人 (最低〇〇人集まったら開催) ・そのための費用 賛同する人からの寄付 (最低〇〇円集まったら開催) という形式ではダメなんでしょうか。 保護者はそれぞれ考えが違います。やりたいことも思うことも違います。それをひとつの方向性で全員参加というのは難しいのではないのでしょうか。 私立であれば、学校の意向が色濃く反映されて良いと思うのですが、公立にそれを求めるのは難しいかと。 やりたい人は各自の責任のもとやればいいということだと思います。やりたい人の意向を押し付けられるのがストレスです。</p>	<p>一点目について、今回の見直しにおいて、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。 二点目について、アイデアとしては面白いと思いますが、一つ一つの活動予算は数千円から数万円であることを踏まえ、募集や精算の事務手間、保護者の負担も考慮の上、使える場面を検討する必要があるかと思われます。</p>
36	<p>引き受ける方々の負担が多くなることで気軽に引き受けにくくなるようなら会費が高くなっても外注できるものは外注にしたりも良いのではないのでしょうか。 私自身はコロナ禍でのPTA だったのでほぼ負担は感じなかったです。</p>	<p>現状、運動会における警備は警備会社に、会報におけるデザインは外部のデザイナーに外注しているところです。「PTAの外注」がキーワードとしてニュースなどでも取り上げられており、調べてみましたが、PTA向けのソリューションとして打ち出されているもののうち私たちのPTAで活用できそうな内容は、警備や会報デザインの他は印刷、講演依頼ぐらいのようです（例えば、会報の取材や、PTAの運営まで委託できる物は見受けられませんでした）。</p>
37	<p>強制するのではない</p>	<p>今回の見直しにおいて、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。</p>
38	<p>強制するものではないと思う</p>	<p>今回の見直しにおいて、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。</p>
39	<p>役員の方の負担が増えないよう、ITツール等を使用して、会議もオンラインで移動時間を無くす等されるといいかもしれません</p>	<p>ご配慮いただきありがとうございます。引き続き各年度の役員の都合などに合わせて柔軟に対応できればと思います。</p>
40	<p>必要な活動に都度ボランティアを募集する形が可能であれば、その方が望ましいです。 外注を検討しても良いかと思えます。</p>	<p>ワンショットのボランティアなども取り入れながら対応していければと考えております。 現状、運動会における警備は警備会社に、会報におけるデザインは外部のデザイナーに外注しているところです。「PTAの外注」がキーワードとしてニュースなどでも取り上げられており、調べてみましたが、PTA向けのソリューションとして打ち出されているもののうち私たちのPTAで活用できそうな内容は、警備や会報デザインの他は印刷、講演依頼ぐらいのようです（例えば、会報の取材や、PTAの運営まで委託できる物は見受けられませんでした）。</p>
41	<p>必要最低限の委員会に絞って欲しい、その予算を、然るべき所に回して欲しい、学年活動は本当に必要なのか？学校の授業以外に、保護者が企画、実行するのは、普段のお勉強ではないという意味で、子供ウケすると思います。でも、それで良いものとして、考えて良いのか？私は教育者でも学者でも無いので、子供のためになるものが分かりません。先生方から、もっと色々なお話を聞き、学習が、学校生活が面白く楽しくなるような関わりをしたいと思っています。 入学式で困ったのは、PTAからのお知らせ書類の多さです。 あれは、見る気が無くなります。 どの書面も冒頭三分の一は、時候の挨拶…そこを削れば、他の書面の文書まとめられ、見やすくなるのでは？。 学校の書類も盛り沢山なのに、PTAもそこにさらに乗っけて来てくれたので、面食らいました。 来年は、ぜひ、改善してあげてください。</p>	<p>今回の見直しにおいて、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。また、内容においては必ずしも前例踏襲である必要もございません。 先生方から、もっと色々なお話を聞き、学習が、学校生活が面白く楽しくなるような関わりをしたいという思いを持っていらっしゃるとのこと、素晴らしいと感じます、是非ご参加いただき、実現いただければ幸いです。 入学時の配布文書についても、ご指摘を踏まえ、次年度の配布物については見直していきたいと思えます。</p>

(参考) 保護者からの募集意見に対する検討結果

設問3：その他PTAの在り方や運営等について何なりとご意見お聞かせください

No.	ご意見	検討結果
42	昨今、PTAの在り方が見直される世論は認知しており、負荷軽減に向けた動きを期待する一人ですが、かといって完全民間委託には大きな負担を覚悟しており、PTA活動でご尽力頂いている皆様にはお世話になっていることへの感謝の気持ちでいっぱいです。	ありがとうございます、引き続きご理解ご協力の程よろしく願いいたします。
43	時間（労務）を提供する、金銭を提供する、のように、貢献の仕方を選べるようになっていてありがたいです。お忙しい父母の方もいらっしゃるし、金銭的に苦しい父母の方もいらっしゃると思います。各自の状況に合わせて貢献できるメニューが選べるようになっていてありがたいな、と思います。	コンセプトとしてはあり得るかと思いますが、金銭の提供を天秤にかけることで、PTA活動参加の内発的動機を奪うリスクもあり、活動参加のインセンティブ(金銭以外も含む)としては別の形を考えたいと思います。また、金銭的に苦しい家庭の場合においては、より一層仕事等によりPTAに労務を提供することは困難であり、そのような家庭に金銭提供を求めることは二重に苦しめることになりかねず、悩ましい課題が生じるケースが考えられます。
44	本来はボランティアのはずが、委員が決まらない場合に抽選して半強制で選出するのはよいと思えません。子ども達がより快適に過ごせるよう協力いたします。ただ時間的な制約もあるため強制的でない形でお願いしたいです。このような機会をいただき誠にありがとうございます。長々と書いてしまいましたが、よりよい運営のために我が家もできる範囲で協力したいと思っています。よろしく願いいたします。	今回の見直しにおいて、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。引き続きご協力いただければ幸いです。
45	本部役員や委員をやらなくても、普段の細かな役割を果たすことでポイントを貯めることができる＝役員や委員を免除される制度の新設はいかがでしょうか。平日や土曜日の集まりには参加できなくても、ウェブ運営や執筆、校正など、外注されれば何らかの貢献ができる人はいそうです。	今回の見直しにおいて、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。また、ワンショットのボランティアなども取り入れながら対応していければと考えております。
46	活動をする時間が無い、または負担になる保護者が無理をしてやらなくても良いように 変わると良いと思います。	今回の見直しにおいて、各活動について必要と感じ、やれる・やりたいと思ったださる方の手挙げ制とし、各活動の人数の枠も撤廃（抽選も廃止）する方向で検討しております。無理のない範囲でご協力いただければ幸いです。
47	特にありません	-
48	特にございません	-
49	特になし	-
50	特に運営面ではITの活用など施策をして頂いており助かっております。今後も新しい手段を不断に取り入れて事務的な処理や連絡は効率化を進めながら、参加者の時間を人ならではの交流や企画などに振り向ける事を期待しております。	仰る通りかと思います。今回の見直し内容が期待に沿っていれば幸いです。
51	途中で転入してきたため、どの委員会がどんな活動で活動頻度はどのくらいか、また必ずどの保護者も一度は委員をやらなくては行けないのか、一度やったら後は免除されるのか、などのルールや情報が不明です。もしそういった一覧があれば、PTA役員決めの際に検討しやすいかなと思いました。	これまでPTA活動の内容及び運営ルールが十分に伝わっていない点は大変申し訳ありませんでした。今後は、活動内容とその必要性、保護者として参加することのメリットを訴求していくようにいたします。

※ 頂いたご意見について、長文や個人が特定される可能性のある表記は、趣旨を損なわない範囲で修正しております。ご了承ください



みんなのPTAを
皆でより良く変えていきましょう



PTA見直し検討に関するお問い合わせ窓口（見直し検討PJ）

jimukyoku@sekidaipta.org（阿部、笹村、小室、川瀬）